

- 1. 会社概要**
2. 2022年6月期 第1四半期連結決算概要
3. 2022年6月期 第1四半期セグメント別決算概要
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画

■ 会社名	株式会社ハウストゥ
■ 代表	代表取締役社長 CEO 安藤 正弘
■ 設立	2009年1月 (創業 1991年)
■ 資本金	33億7,433万円
■ 証券コード	3457
■ 上場取引所	東京証券取引所市場第一部
■ 売上	390.3億円 (2021年6月期 グループ連結)
■ 従業員数	838名 (2021年6月現在 グループ合計)
■ 本社	東京都千代田区丸の内1丁目8-1 丸の内トラストタワーN館17F
■ 本店	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町670番地
■ 事業内容	フランチャイズ事業、ハウス・リースバック事業、金融事業、不動産売買事業、不動産流通事業、リフォーム事業

【企業理念】

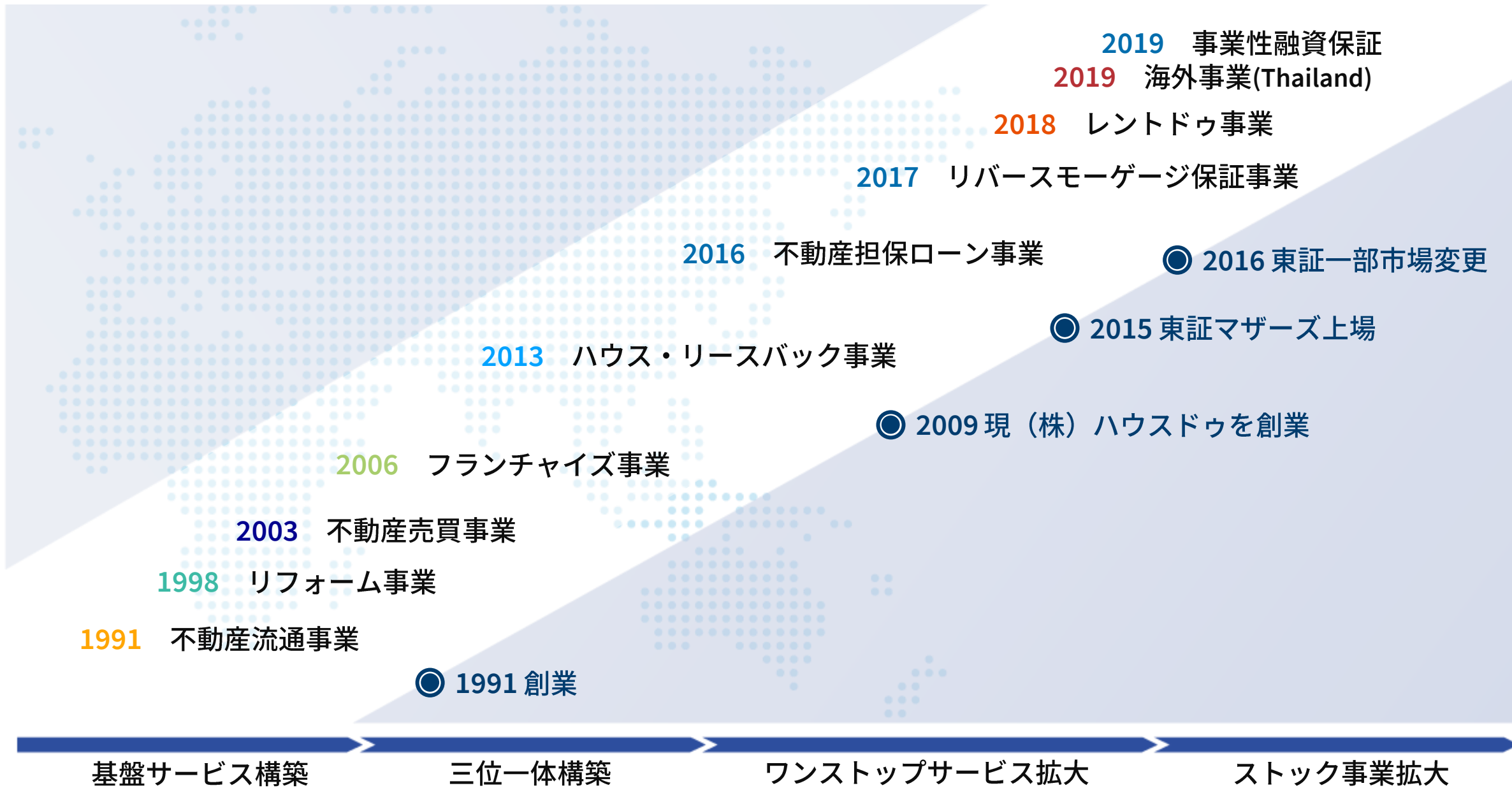
お客様の豊かさ、社員の豊かさ、社会の豊かさを常に創造し、
末永い繁栄と更なる幸福を追求します。

【経営理念】

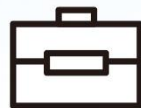
お客様から必要とされ、お客様へ尽くします。

【ブランド理念】

私たちは日本の住宅市場をオープンにし、
お客様のライフステージに即した理想の住宅を積極的に
住み替えたりできる「住まいの新しい流通システム」を築きます。



地域密着の



販売力



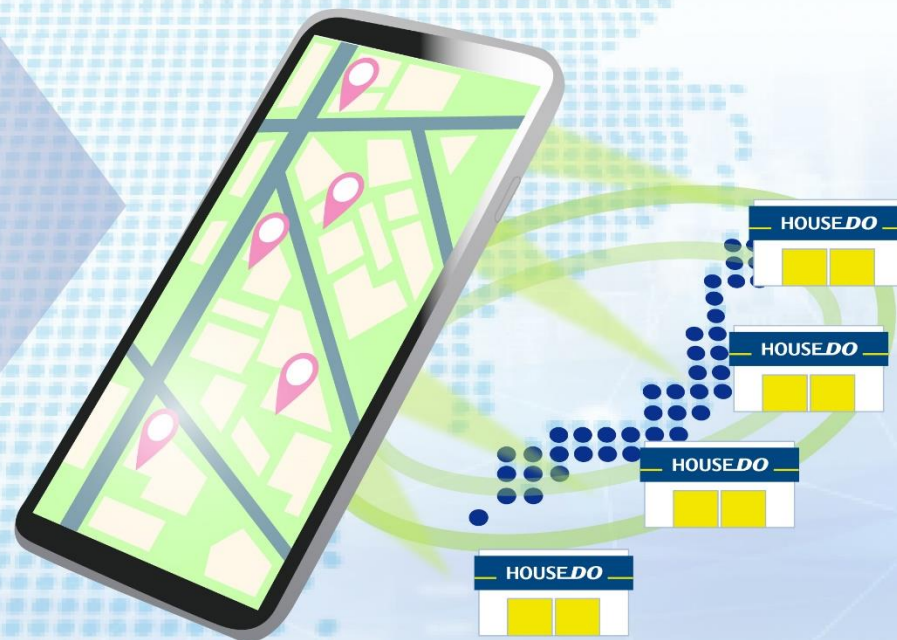
査定力



信用力



全国対応



『顧客接点』・『地域密着』のネットワークを構築

全てのエリアにハウスドゥ
お客様のより近くに、安心・便利な窓口を創り出す。



不動産情報公開

国内1,000店舗の
FCチェーンネットワーク
(2025年)



不動産ソリューション (高齢化社会に対応)

ハウス・リースバック
不動産担保ローン
リバースモーゲージ
リフォーム



売買仲介を起点に
住まいの関連サービスへつなげる

不動産流通事業

住まいのワンストップサービス

事業シナジーを強化



リフォーム事業

フランチャイズ事業
(アジアのFCチェーンネットワーク)



不動産売買事業



ハウス・リースバック



賃貸管理・仲介
(レントドゥ)



金融事業

- ・リバースモーゲージ保証
- ・不動産担保ローン
- ・事業性融資保証



海外事業

1. 会社概要
- 2. 2022年6月期 第1四半期連結決算概要**
3. 2022年6月期 第1四半期セグメント別決算概要
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画

2022年6月期 第1四半期業績進捗

第1四半期業績は売上高、利益とも過去最高を大幅更新。

売上	営業利益	経常利益
110.7 億円	7.9 億円	7.0 億円
(前年同期比 +47.1%)	(前年同期比+150.8%)	(前年同期比+174.2%)

※当期より、「収益認識に関する会計基準」を適用。詳細は決算短信P9をご参照ください。

フランチャイズ

累計加盟契約
698店舗

累計開店店舗
619店舗

ハウス・リースバック

保有件数/総額
541件 /68.6億円

仕入契約件数 230件
(前年同期比+17.3%)

金融

リバースモーゲージ保証残高
66.9億円

不動産担保融資残高
82.9億円

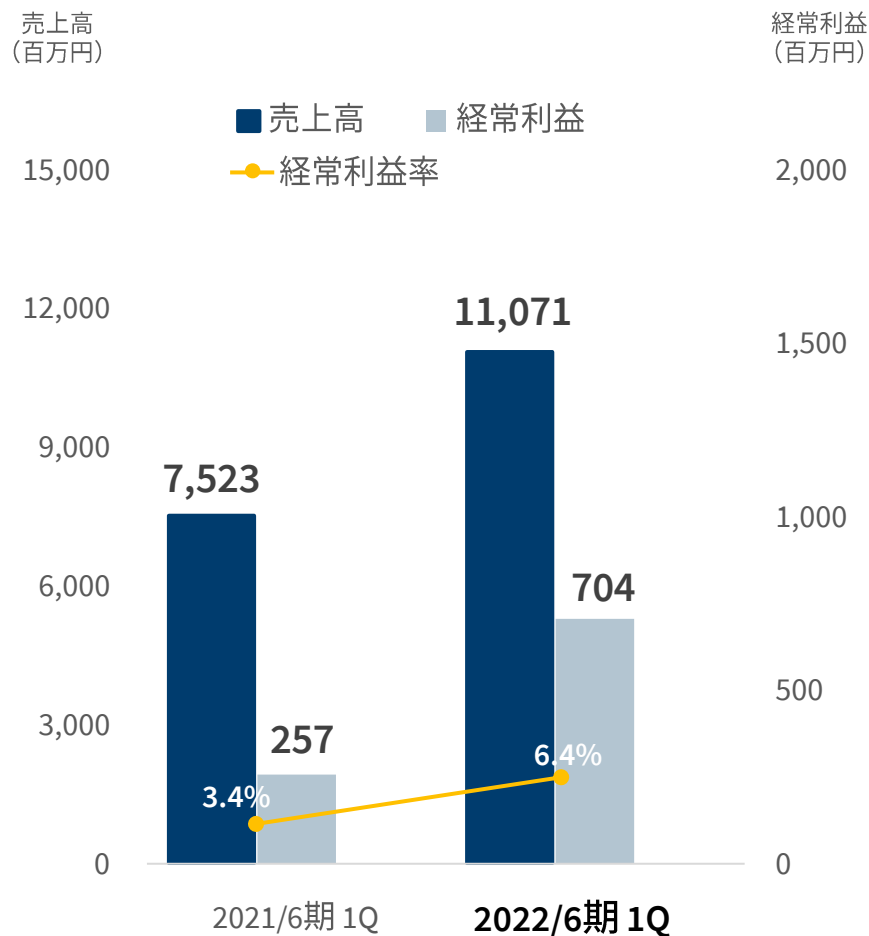
トピックス

- リバースモーゲージ保証で今期新たに4金融機関と提携
- 持続的な成長と企業価値向上に向け、2022年1月1日付で持株会社体制へ移行予定

配当

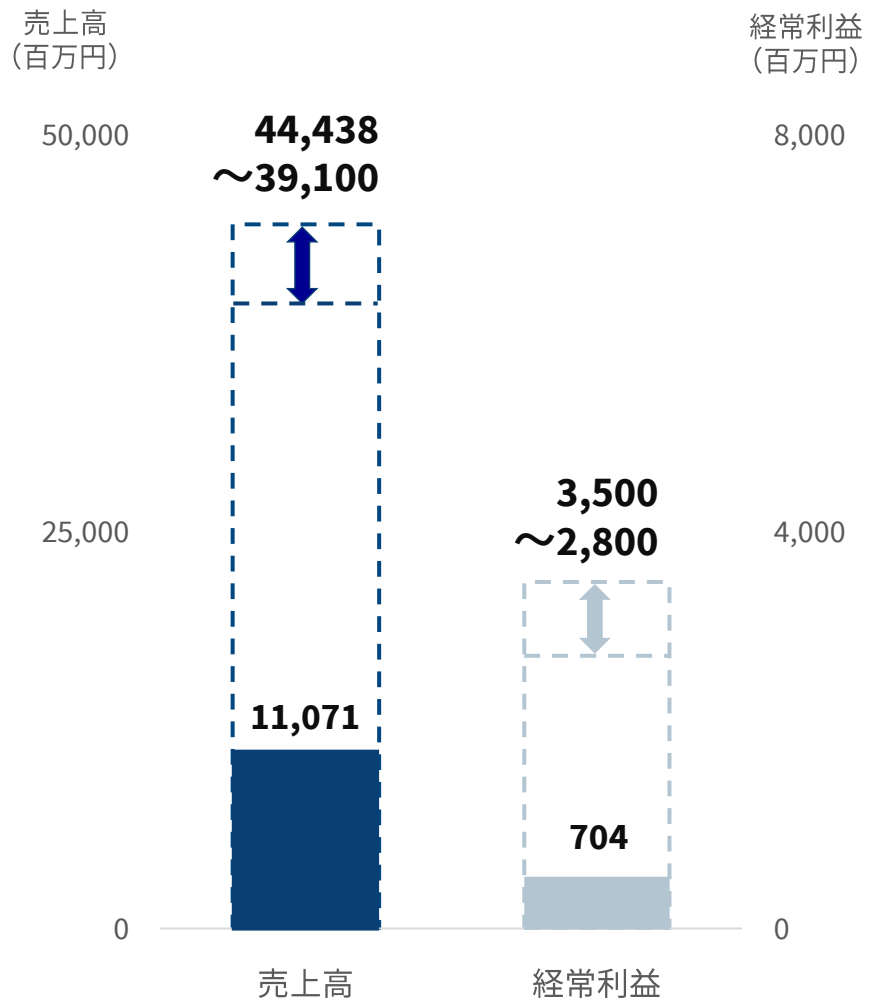
- 持続的な業容拡大と収益性向上による企業価値の向上
- 配当性向30%以上を基本水準

単位 (百万円)



(前年同期比較)	2021/6期 1Q		2022/6期 1Q		前年同期 増減率
	売上 対比		売上 対比		
売上高	7,523	100.0%	11,071	100.0%	+ 47.1%
売上総利益	2,755	36.6%	3,476	31.4%	+ 26.2%
販売費及び 一般管理費	2,439	32.4%	2,683	24.2%	+ 10.0%
営業利益	315	4.2%	792	7.2%	+ 150.8%
営業外収益	29	0.4%	45	0.4%	+ 53.3%
営業外費用	88	1.2%	132	1.2%	+ 50.2%
経常利益	257	3.4%	704	6.4%	+ 174.2%
純利益	152	2.0%	414	3.7%	+ 172.7%
EBITDA	435	5.8%	967	8.7%	+ 122.3%

■売上総利益：前年同期比 +26.2% 販管費：前年同期比 +10.0%
 ■前期に引き続き好調な不動産売買事業が貢献し、業績は大幅伸長

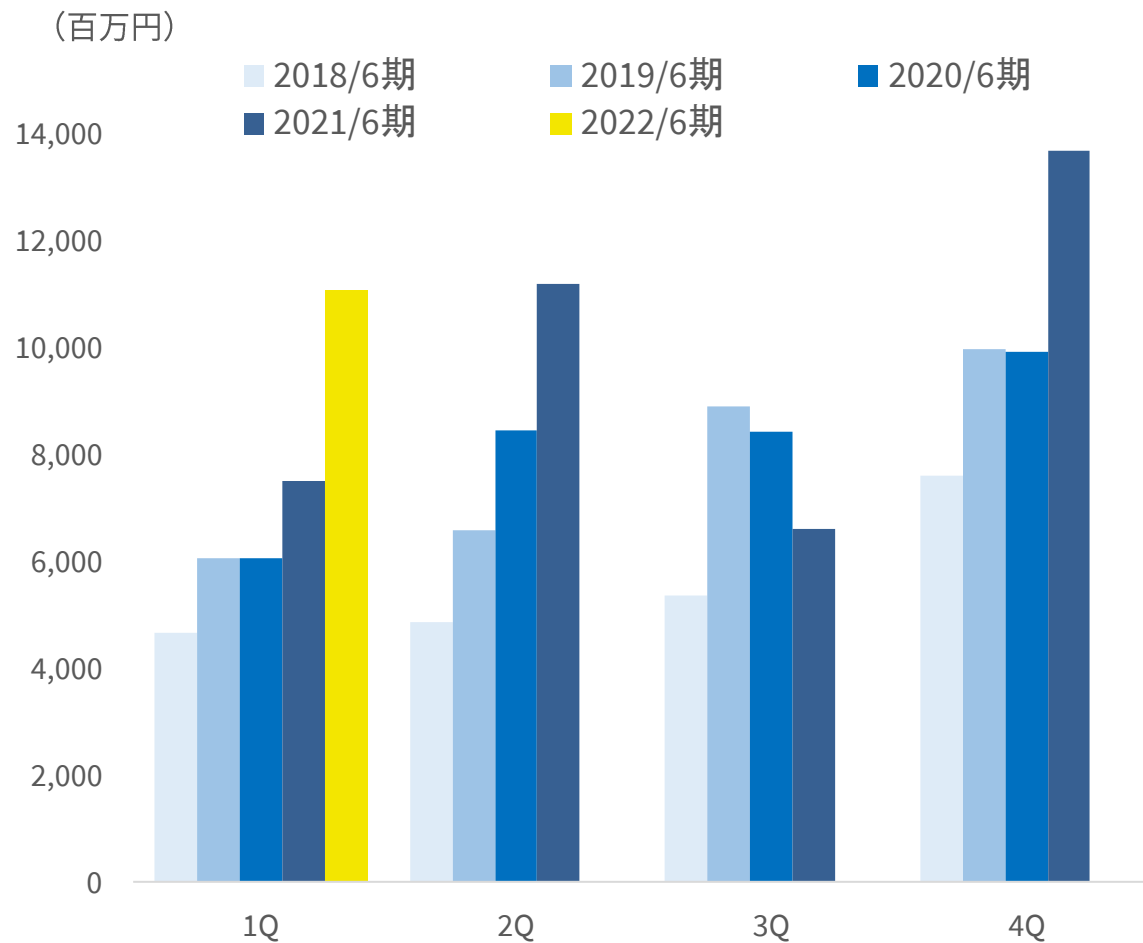


	2022/6期 1Q 実績	2022/6期 (予)	通期進捗率 (下限~上限)
売上高	11,071	44,438 ~39,100	28.3% ~24.9%
営業利益	792	3,673 ~2,973	26.7% ~21.6%
経常利益	704	3,500 ~2,800	25.2% ~20.1%
純利益	414	2,310 ~1,848	22.4% ~17.9%
1株当たり純利益 (円)	21.21	118.13 ~94.50	—

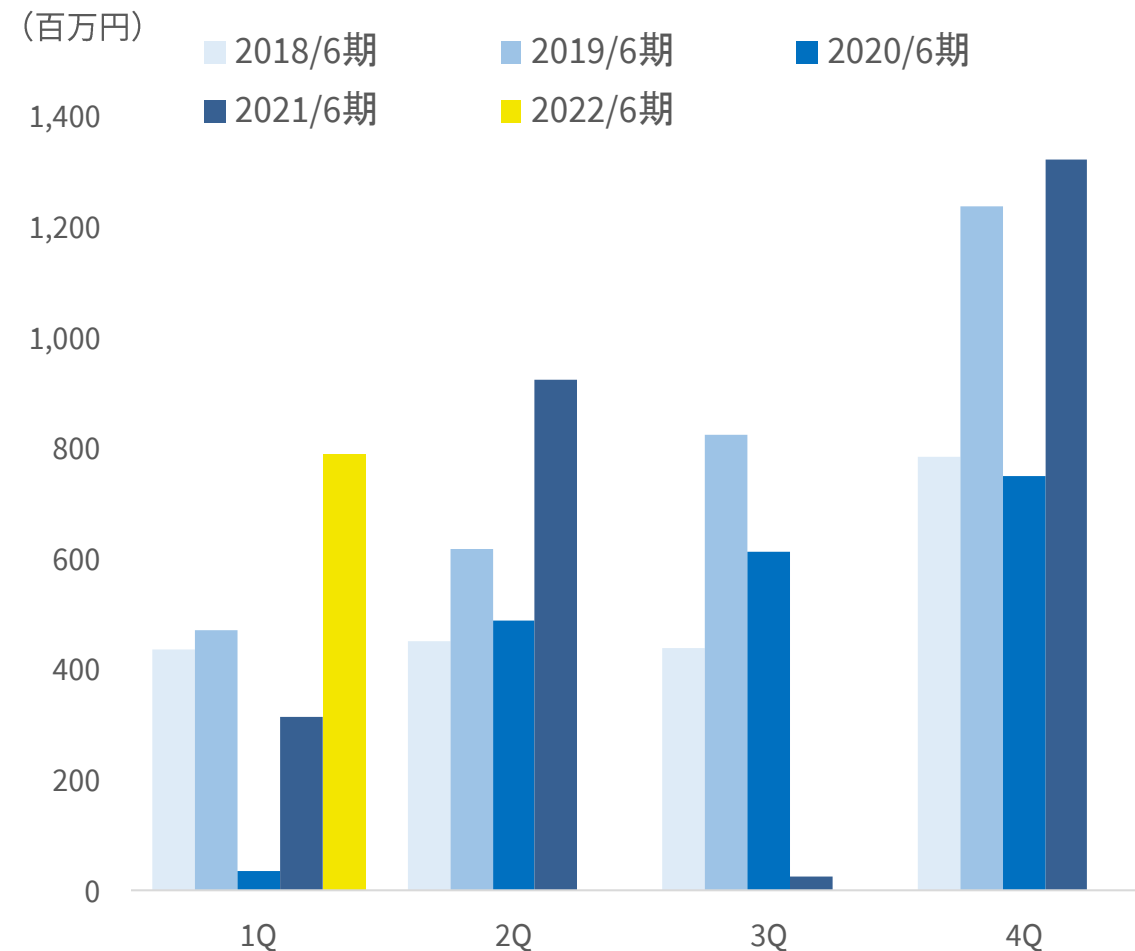
■ 売上高110.7億円 ➡ 進捗率24.9%~28.3% 経常利益 7.0億円 ➡ 同21.6%~26.7%

■ 不動産売買事業を始め、各セグメントおおむね良好に進捗し、第1四半期業績は好調なスタート

■ 四半期売上高推移



■ 四半期営業利益推移

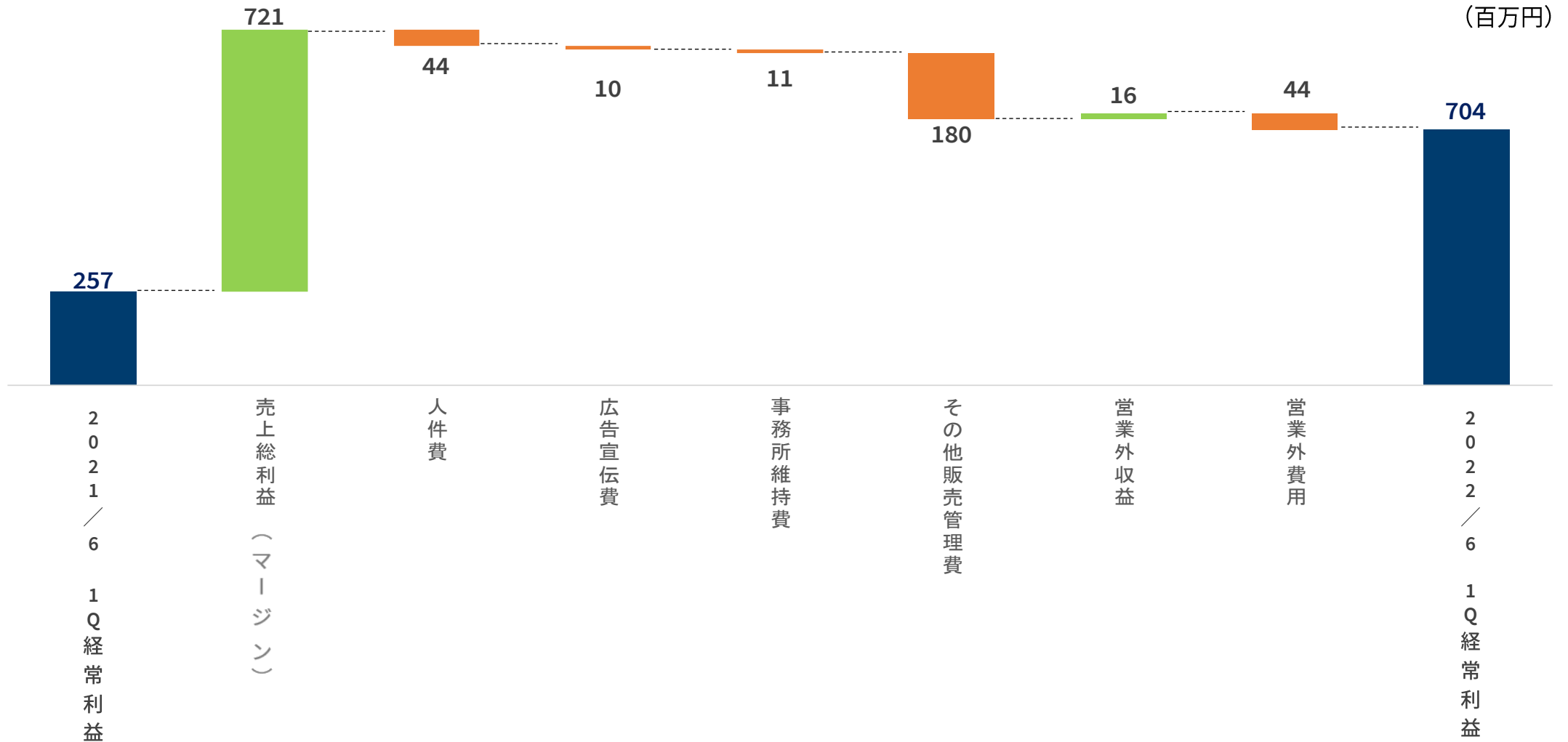


■引き続き好調な不動産売買事業が牽引し、売上高、利益は第1四半期業績として過去最高を大幅更新

経常利益増減要因内訳

■ 売上総利益（マージン）は前年同期比+ 26.2%

■ 成長強化事業（フランチャイズ、ハウス・リースバック、金融）への人財、広告宣伝投資は積極的に行う一方、全体として効率的に販管費をコントロール



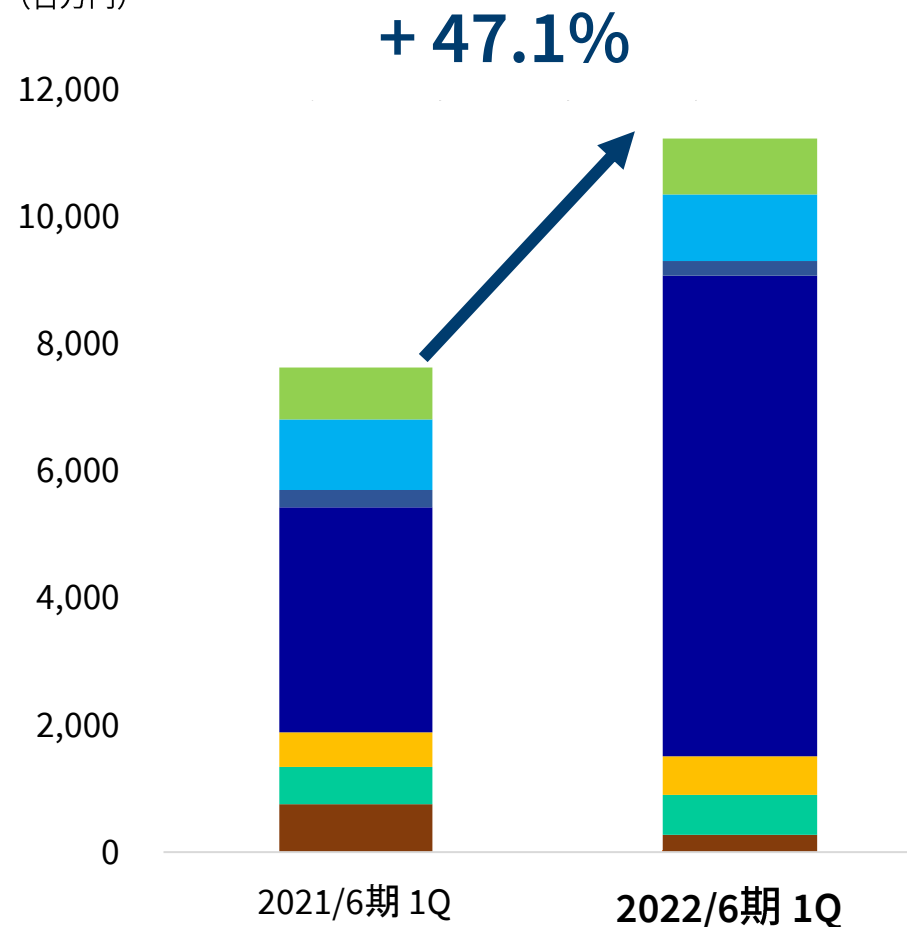
セグメント別売上高

単位（百万円）

(前年同期比較)	2021/6期 1Q	2022/6期 1Q	対前年 増減率
フランチャイズ事業	820	871	+ 6.2%
ハウス・リースバック事業	1,108	1,062	▲ 4.2%
金融事業	276	230	▲ 16.5%
不動産売買事業	3,543	7,571	+ 113.7%
不動産流通事業	558	597	+ 6.9%
リフォーム事業	570	621	+ 8.8%
小山建設グループ	756	273	▲ 63.8%
その他	0	1	+ 153.6%
調整額	▲ 111	▲ 157	-
合計	7,523	11,071	+ 47.1%

セグメント別売上高推移グラフ

(百万円)



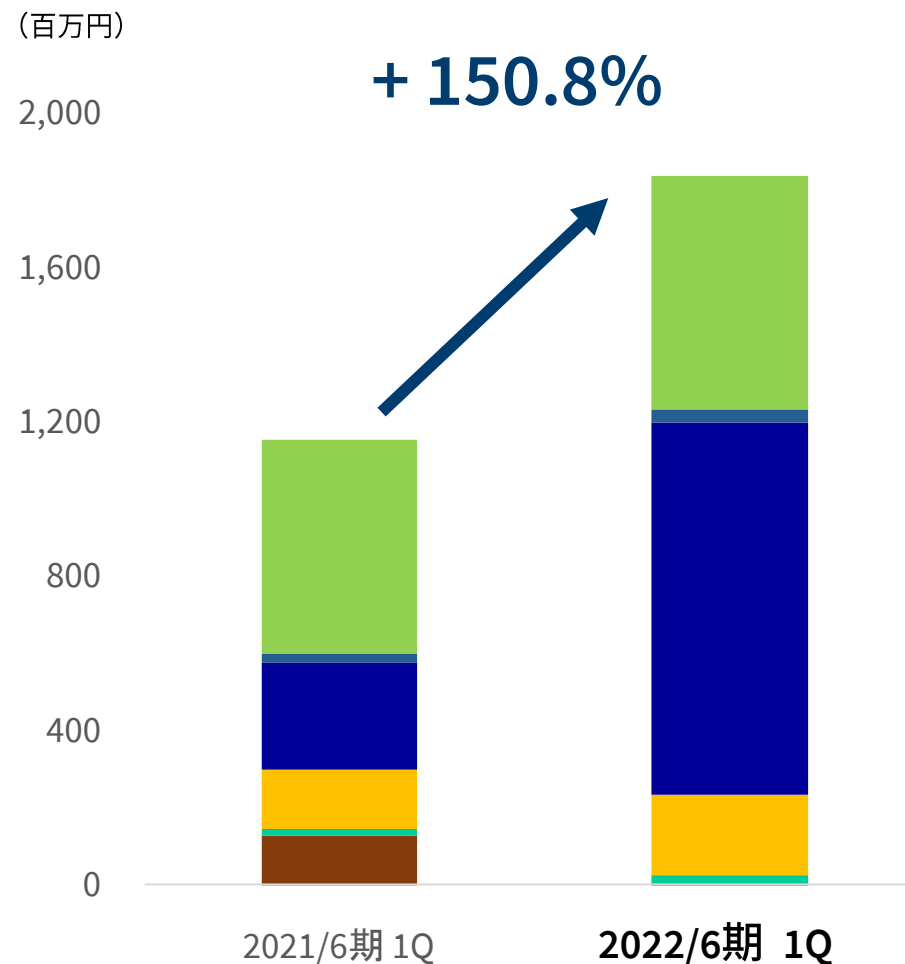
■住宅需要は引き続き旺盛 前期より引き続き好調な不動産売買事業が大幅伸長

■ハウス・リースバック事業の前年同期比減は、売却売上高が前年同期を下回っていることによるもの

セグメント別利益

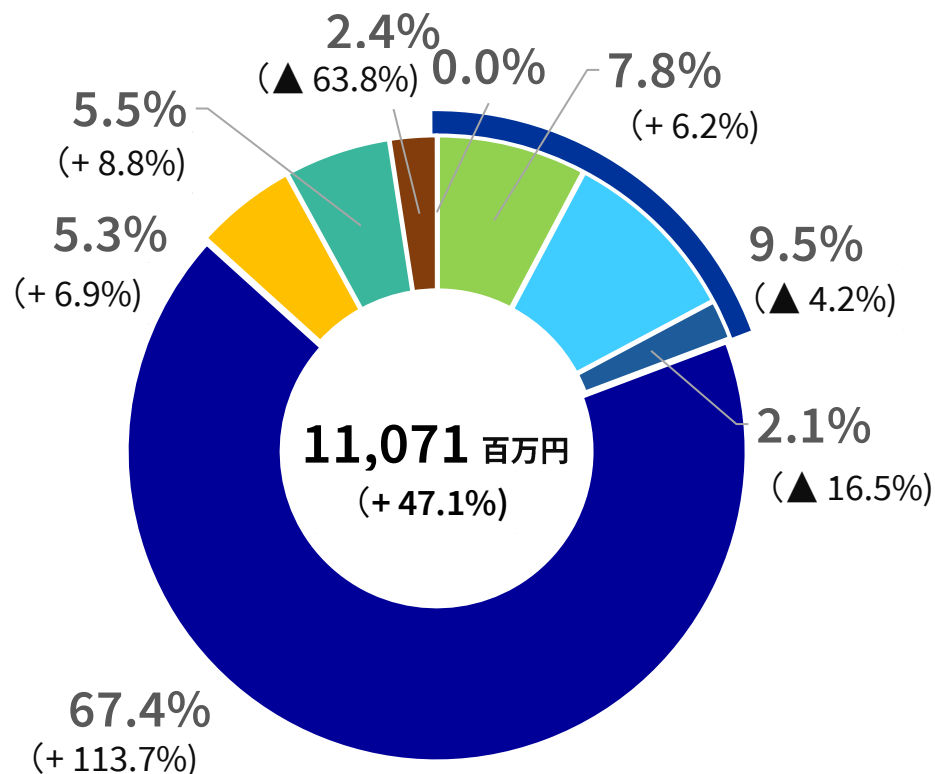
(前年同期比較)	2021/6期 1Q	2022/6期 1Q	単位（百万円） 対前年 増減率
フランチャイズ事業	556	604	+ 8.7%
ハウス・リースバック事業	▲ 14	▲ 22	—
金融事業	24	36	+ 46.7%
不動産売買事業	278	964	+ 246.0%
不動産流通事業	154	208	+ 35.6%
リフォーム事業	16	25	+ 51.4%
小山建設グループ	126	▲ 27	—
その他	▲ 4	▲ 4	—
調整額	▲ 823	▲ 993	—
合計	315	792	+ 150.8%

セグメント別利益推移グラフ



■流動化前のハウス・リースバック事業、前期は収益不動産売却が貢献した小山建設を除き、各セグメントで利益上昇
 ■金融事業は、担保融資残高を縮小する一方、リバースモーゲージ保証の伸長と販管費の抑制により利益向上

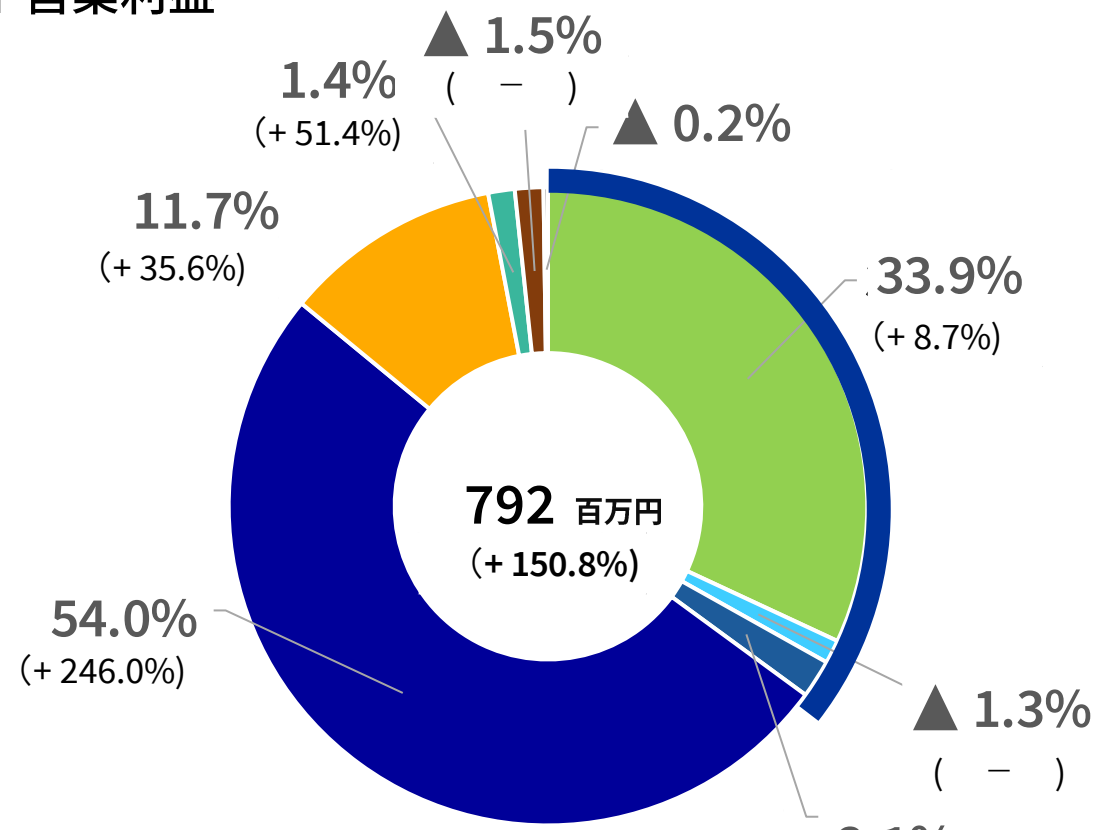
売上高



成長強化事業 **19.3%**
 (ストックをベース) (前年同期 28.9%)

- フランチャイズ事業
- ハウス・リースバック事業
- 不動産流通事業
- リフォーム事業

営業利益



成長強化事業 **34.7%**
 (ストックをベース) (前年同期 49.8%)

() は前年同期比

- 金融事業
- 不動産売買事業
- 小山建設グループ
- その他

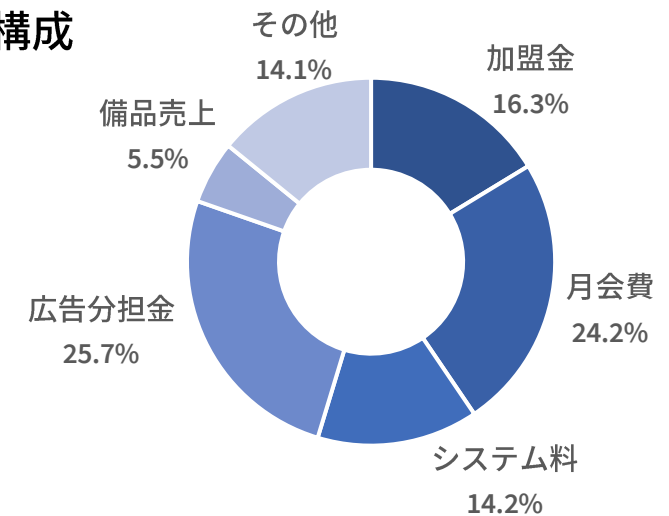
1. 会社概要
2. 2022年6月期 第1四半期連結決算概要
- 3. 2022年6月期 第1四半期セグメント別決算概要**
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画

売上高・営業利益推移

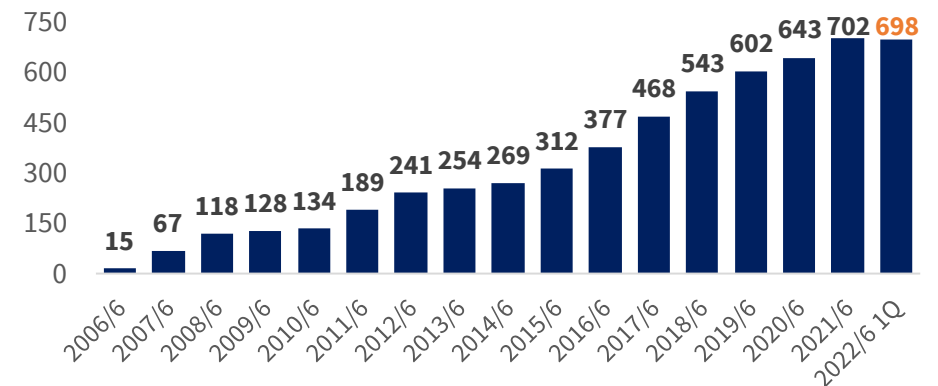
	2021/6期 1Q	2022/6期 1Q	2022/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	820	871	3,563	24.5%
営業利益 (百万円)	556	604	2,408	25.1%
営業利益率 (%)	67.9%	69.4%	67.6%	—
累計加盟店舗数	659	698	767	—
累計開店店舗数	570	619	676	—

- 新規加盟店舗数 27件 新規開店店舗数 29店舗 累計加盟店舗数 698店舗
- 累計加盟店舗数の前期末からの減少は複数店舗加盟企業の退会の影響
- 加盟促進に向け人財・広告宣伝費投資等を継続

売上構成



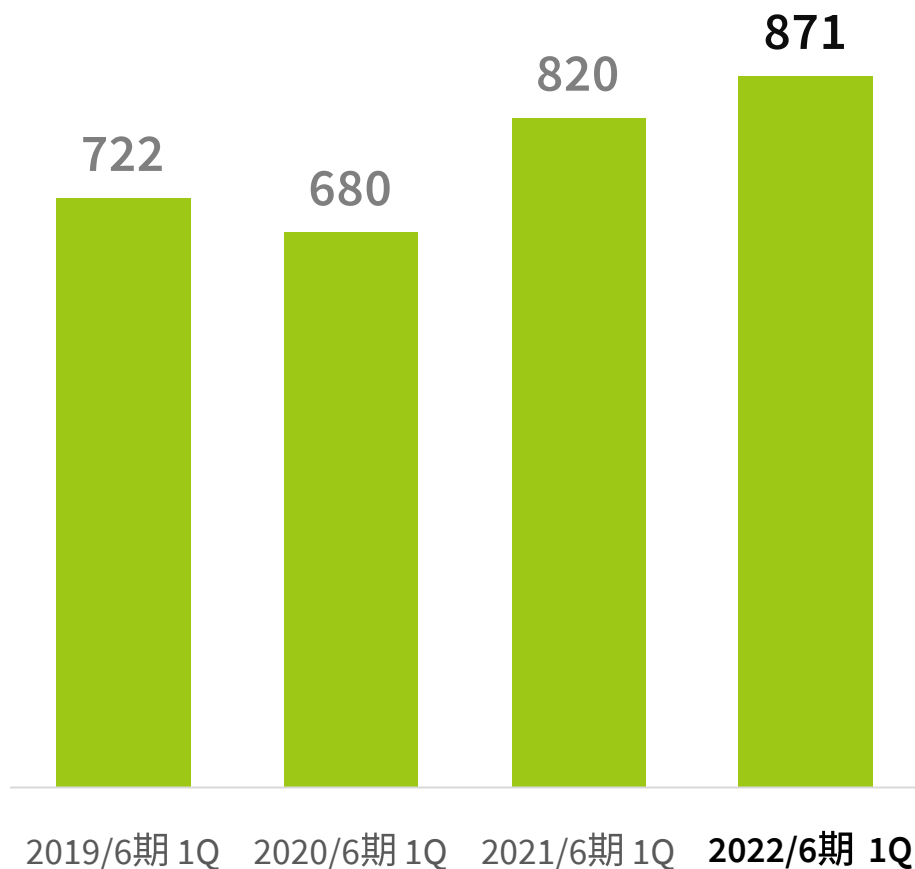
加盟店舗数の推移



売上高推移

百万円

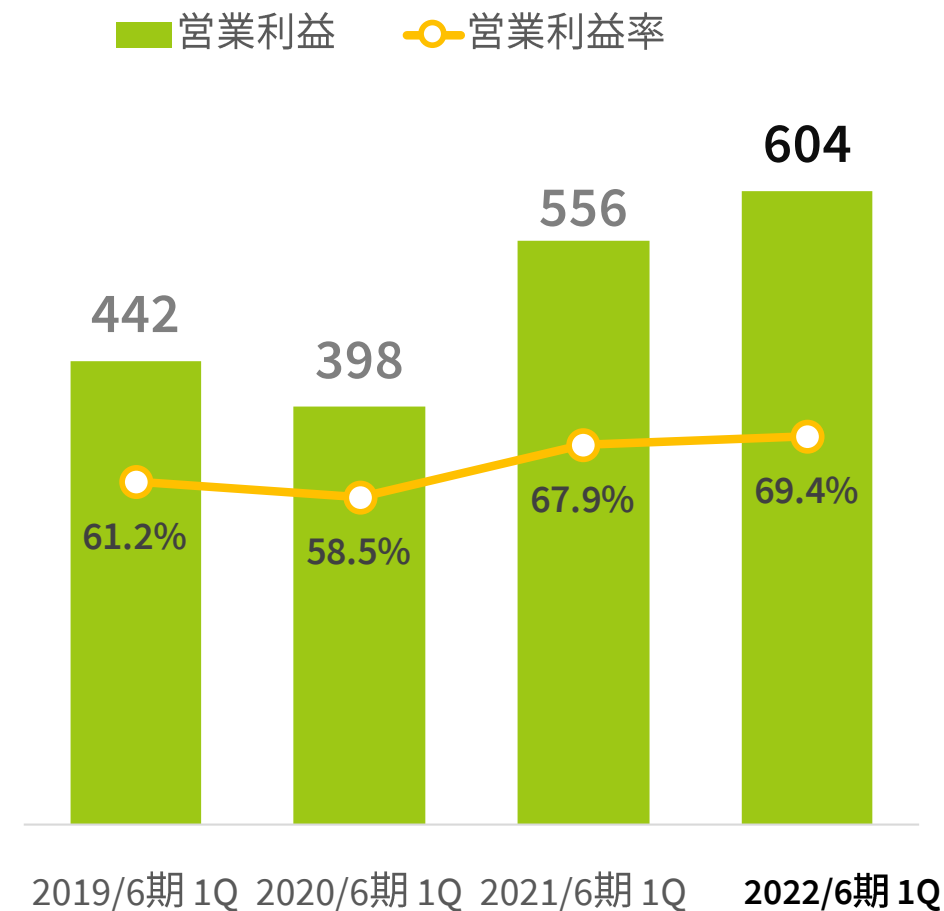
前年同期比 **+ 6.2 %**



営業利益推移

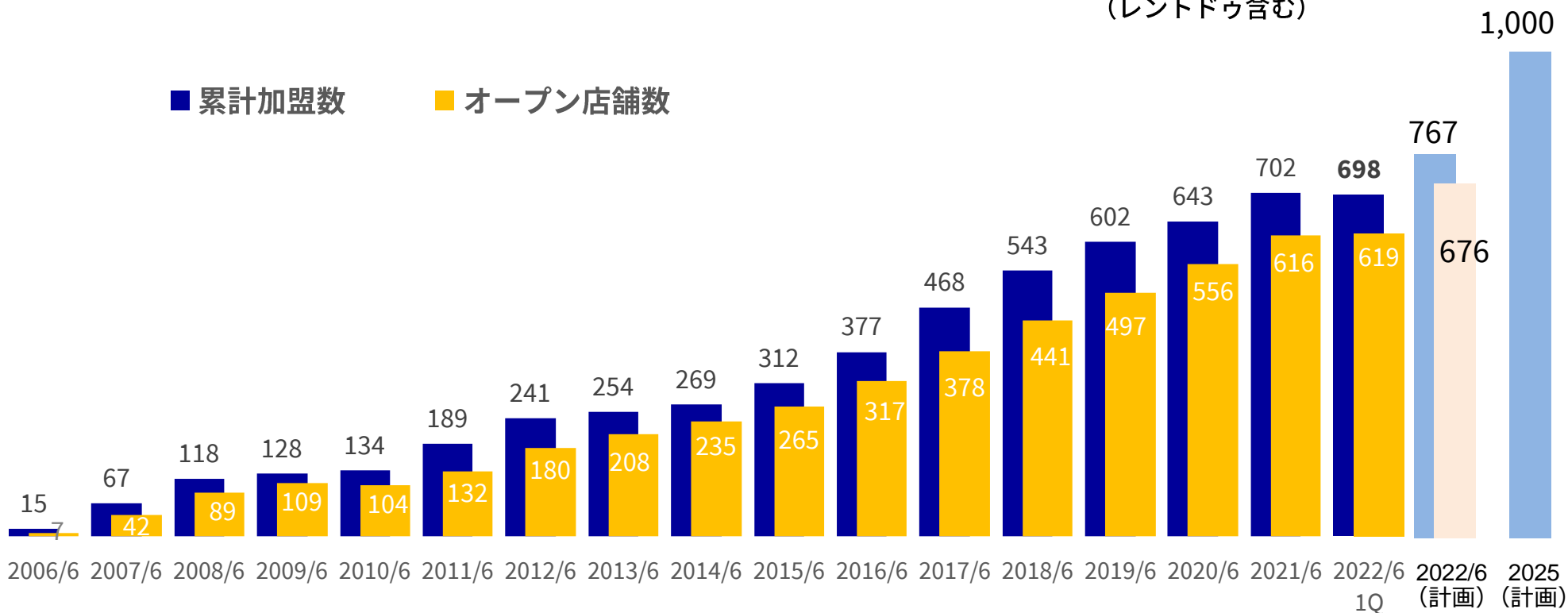
百万円

前年同期比 **+ 8.7 %**



2021年9月末日現在 698店舗

※内準備中 79店舗
(レントドゥ含む)



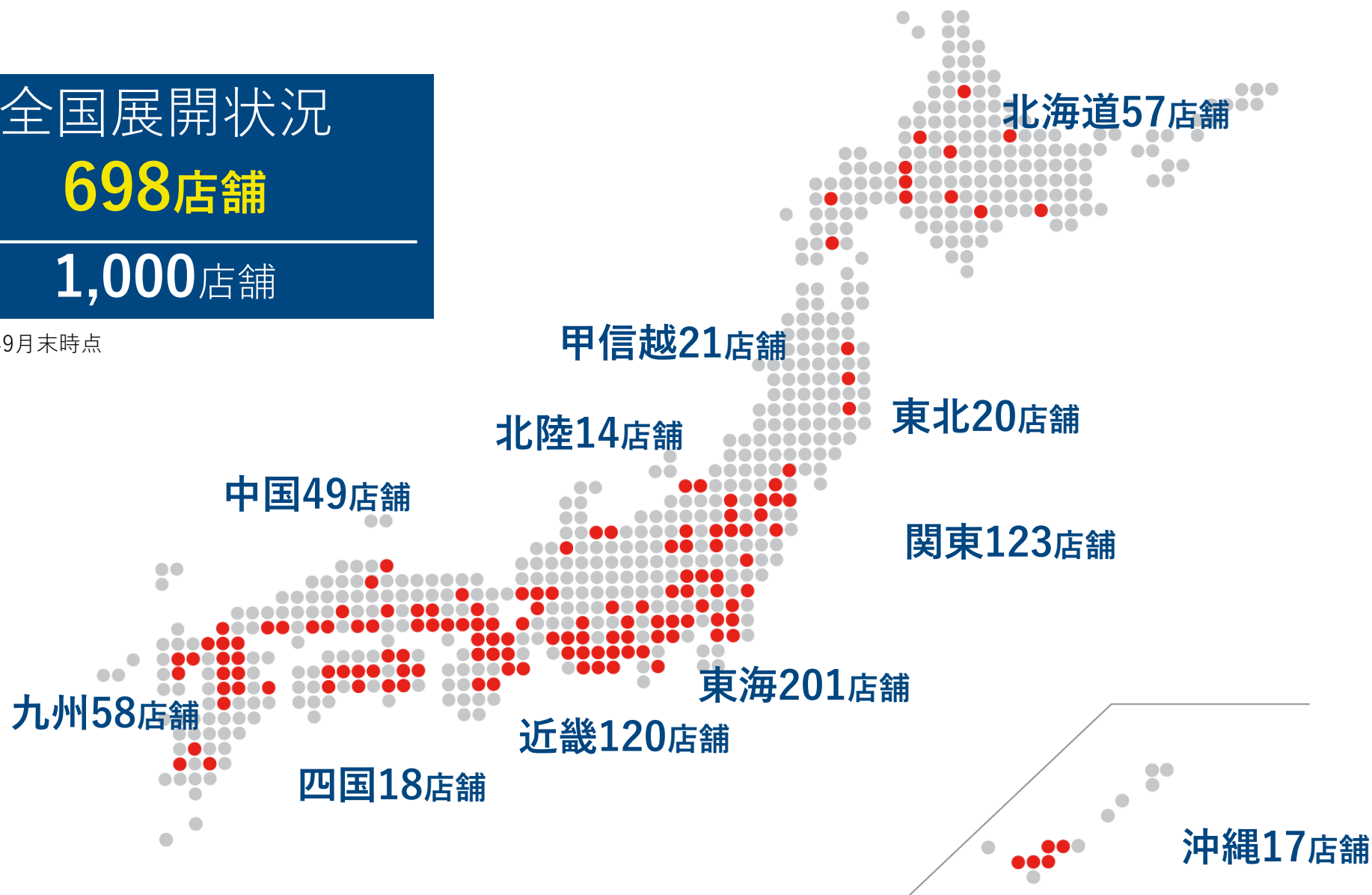
	サテライト店	買取専門店	住宅情報モール	レントドゥ	合計
FC加盟店	542	94	2	31	669
直営店	10	14	3	2	29
合計	552	108	5	33	698

全国展開状況

698店舗

1,000店舗

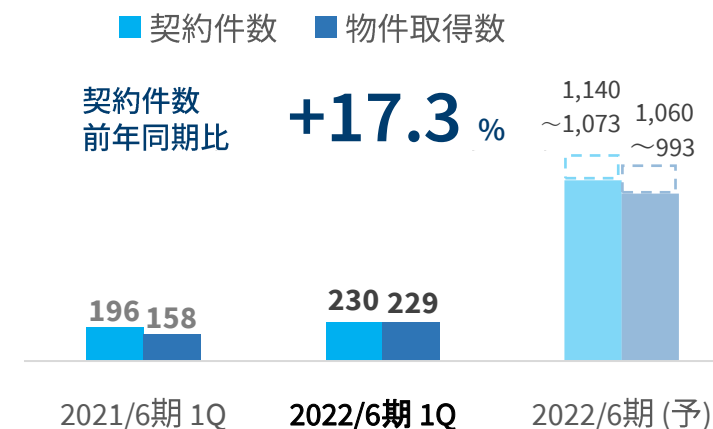
※2021年9月末時点



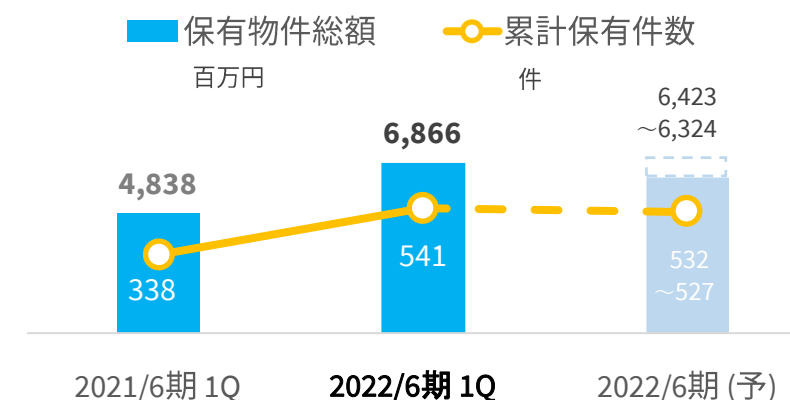
売上高・営業利益推移

	2021/6期 1Q	2022/6期 1Q	2022/6期 (予)	通期進捗率 (下限~上限)
売上高 (百万円)	1,108	1,062	17,228 ~15,942	6.7% ~6.2%
営業利益 (百万円)	▲ 14	▲ 22	2,335 ~2,100	—
営業利益率 (%)	—	—	13.6% ~13.2%	—
契約件数	196	230	1,140 ~1,073	21.4% ~20.2%
物件取得数	158	229	1,060 ~993	23.1% ~21.6%
累計保有件数	338	541	532 ~527	—
保有物件総額 (百万円)	4,838	6,866	6,423 ~6,324	—

契約件数・物件取得数の推移



保有物件数・総額の推移



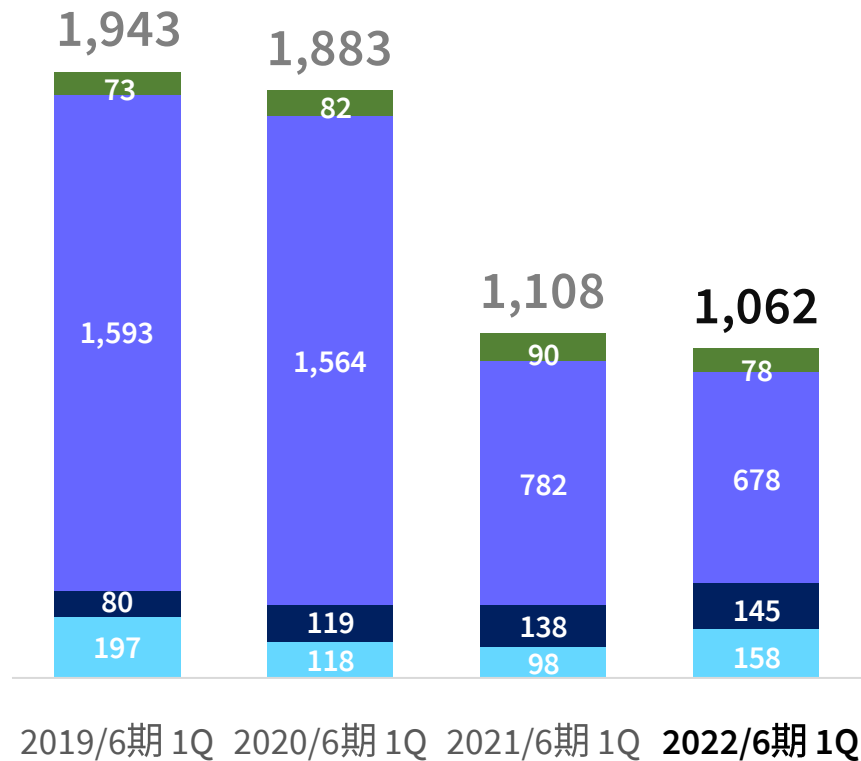
- 仕入契約件数230件（76.6件/月・前期比+17.3%） 第2四半期以降の流動化に向けストックは充実
- さらなる取組拡大のため、一層の人財・広告宣伝投資等を継続

売上高推移

百万円

前年同期比 ▲ **4.2%**

- 賃料収入等
- 手数料等
- 売却売上高
- 収益賃料等
- 収益売却

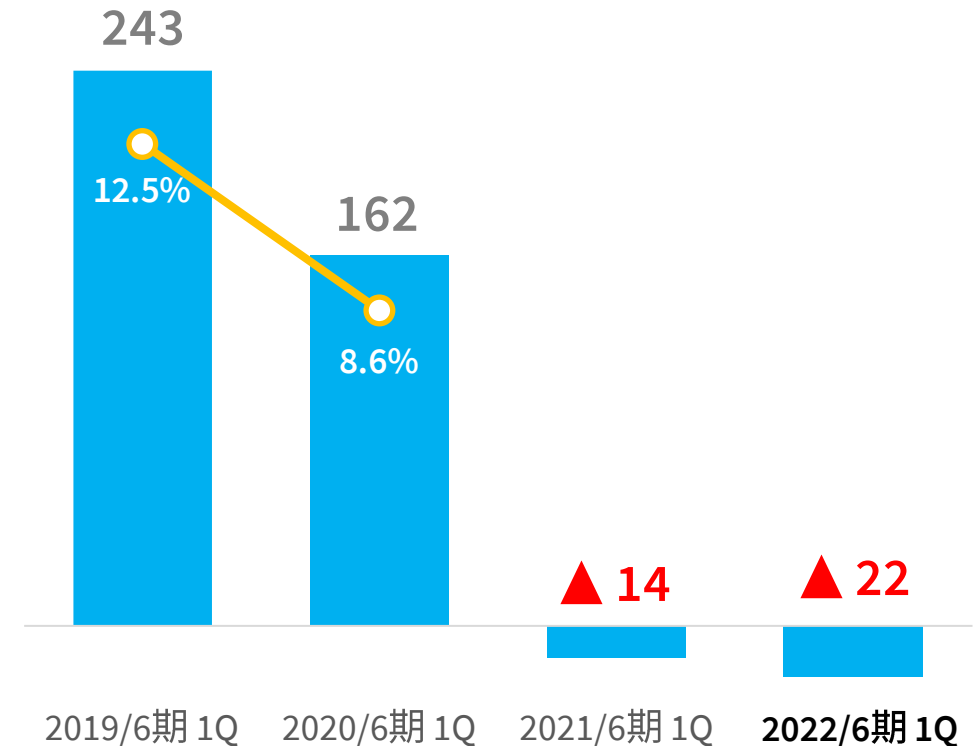


営業利益推移

百万円

前年同期比 ▲ **8** 百万円

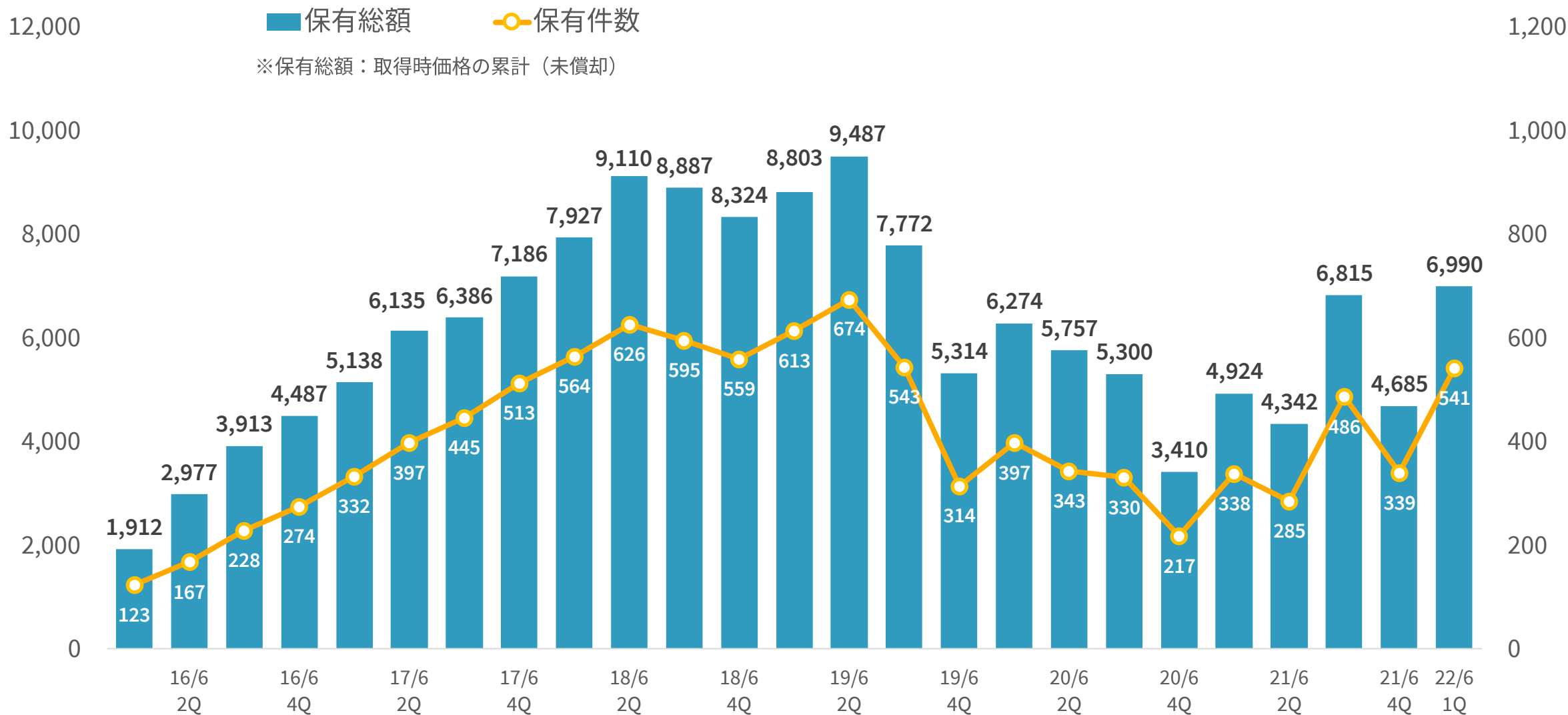
- 営業利益
- 営業利益率



ハウス・リースバック事業 保有総額・保有件数

保有総額
(百万円)

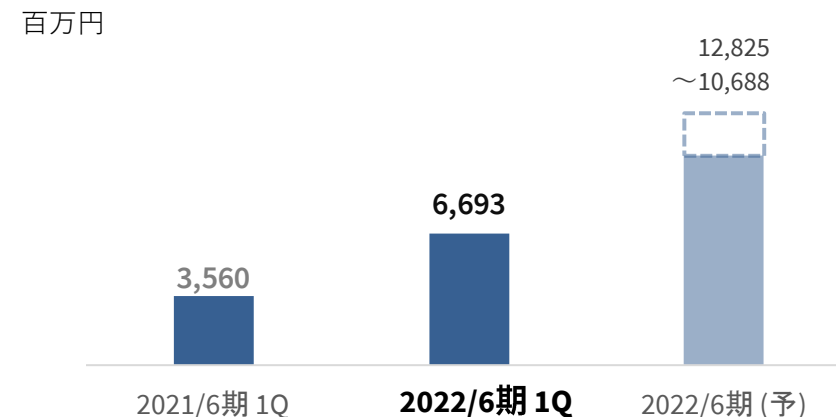
保有件数
(件)



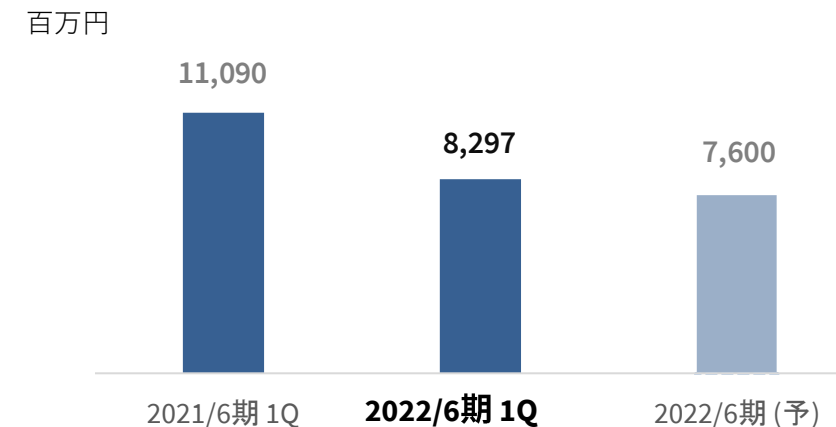
売上高・営業利益推移

	2021/6期 1Q	2022/6期 1Q	2022/6期 (予)	通期進捗率 (下限~上限)
売上高 (百万円)	276	230	1,012 ~952	24.2% ~22.8%
営業利益 (百万円)	24	36	160 ~100	36.7% ~22.9%
営業利益率 (%)	9.0%	15.9%	15.8% ~10.5%	—
リバースモーゲージ 新規保証件数	27	96	878 ~675	14.2% ~10.9%
リバースモーゲージ 保証残高 (百万円)	3,560	6,693	12,825 ~10,688	—
不動産担保融資 実行件数	30	30	180	16.7%
不動産担保融資 残高 (百万円)	11,090	8,297	7,600	—

リバースモーゲージ保証残高の推移



不動産担保融資残高の推移



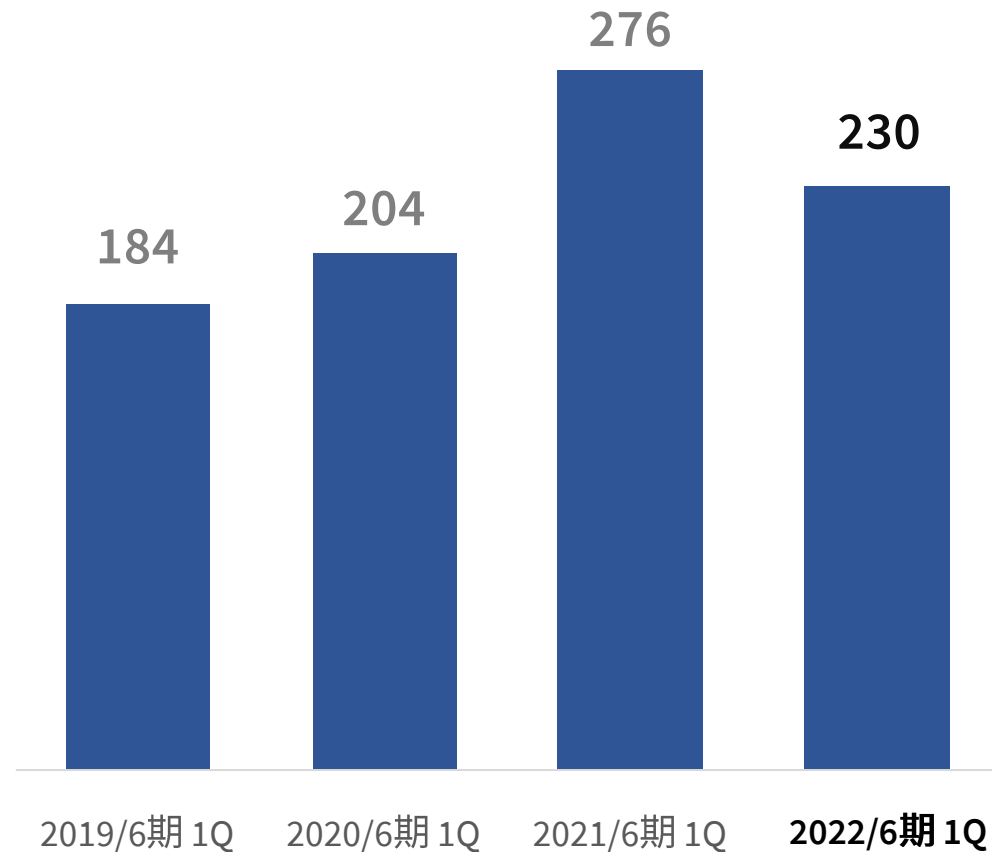
- リバースモーゲージ新規保証件数は前年同期比+255.6%、保証残高66.9億円 前期末から+13.5億円 (+4.5億円/月)
- 不動産担保融資は良質な案件を厳選 不動産サービスを絡め高収益化を推進

売上高推移

百万円

前年同期比

▲ **16.5** %

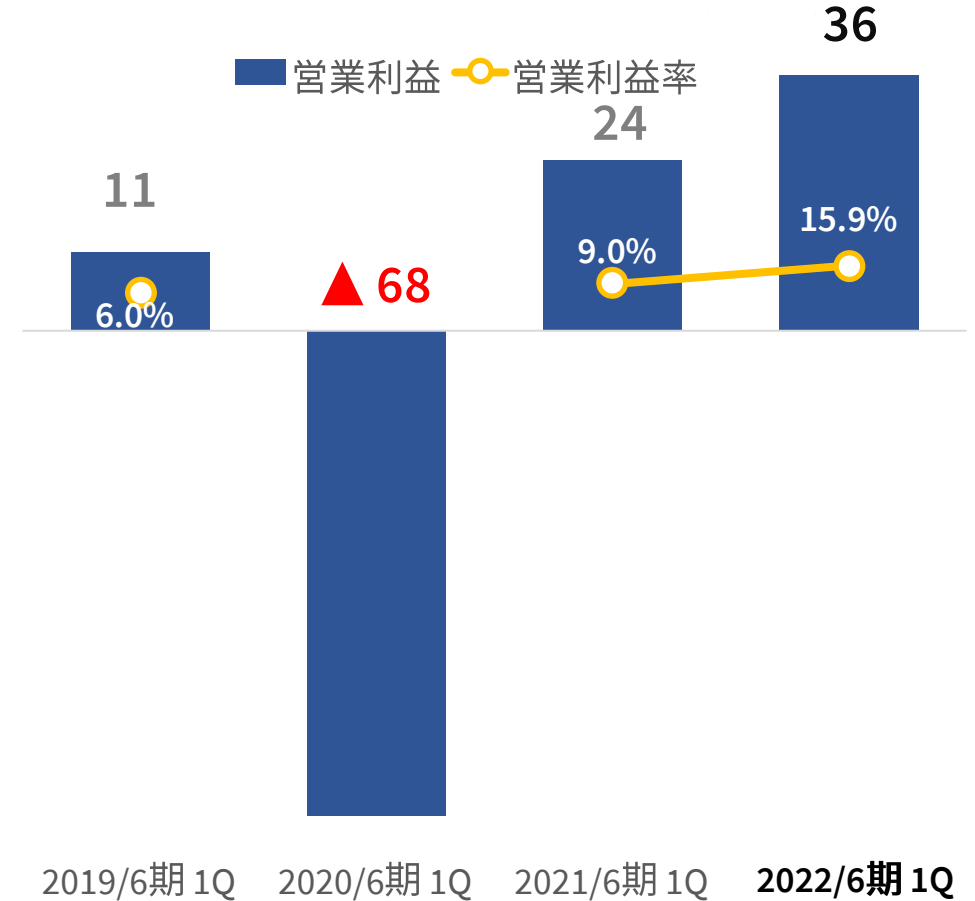


営業利益推移

百万円

前年同期比

+ **46.7** %

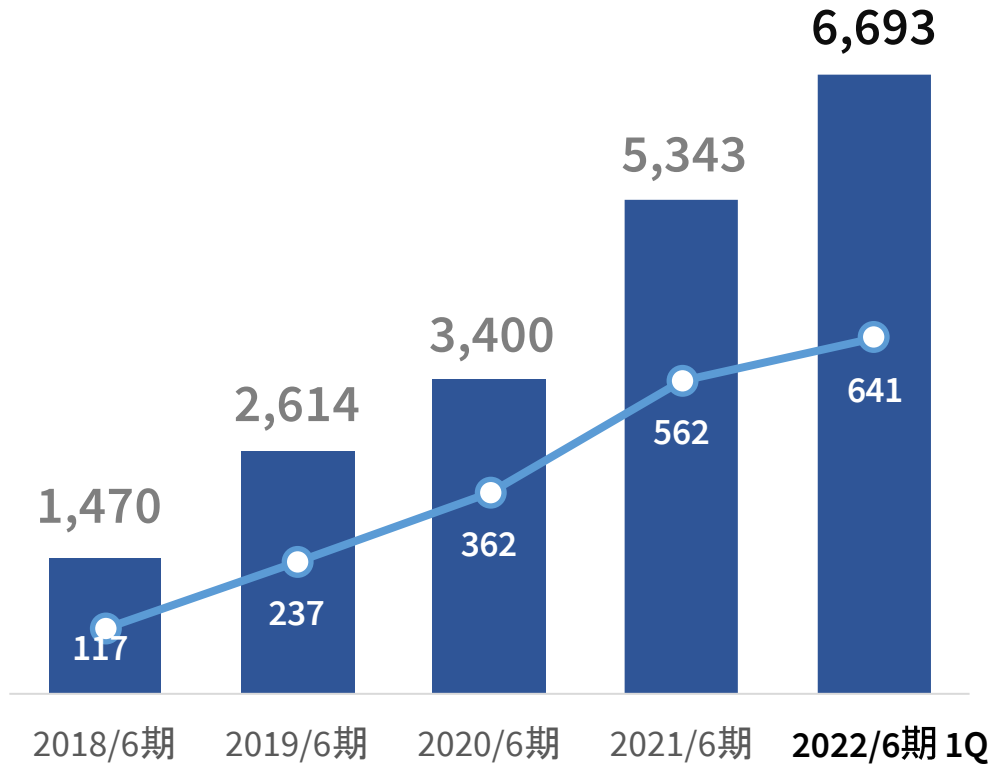


リバースモーゲージ保証残高・件数推移

百万円

保証残高 **66.9** 億円

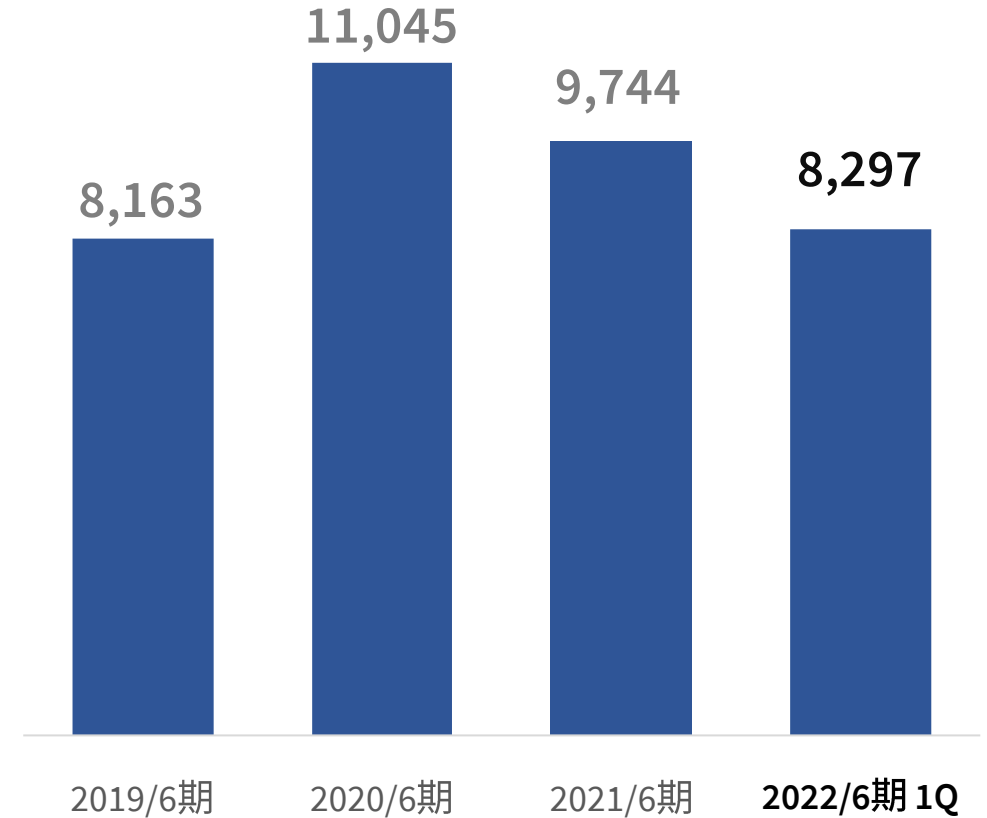
■ 累計保証残高 ○ 保証件数



不動産担保融資残高推移

百万円

不動産担保融資残高 **82.9** 億円



(2021年11月11日現在)
29 提携金融機関

※リリース日基準

関西エリア

大阪商工信用金庫	滋賀中央信用金庫
大阪信用金庫	但馬銀行
京滋信用組合	長浜信用金庫
湖東信用金庫	

中国四国エリア

愛媛銀行	中国銀行
高知銀行	

関東エリア

足立成和信用金庫	東栄信用金庫
神奈川銀行	東京スター銀行
小松川信用金庫	東京東信用金庫
川口信用金庫	富山信用金庫
さわやか信用金庫	飯能信用金庫
芝信用金庫	楽天銀行
大光銀行	

東海エリア

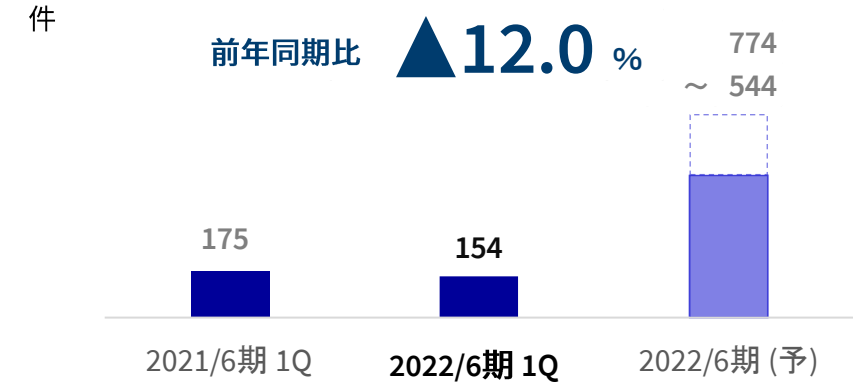
遠州信用金庫	浜松磐田信用金庫
静岡信用金庫	尾西信用金庫
知多信用金庫	三島信用金庫

※五十音順。エリア区分は本店所在地

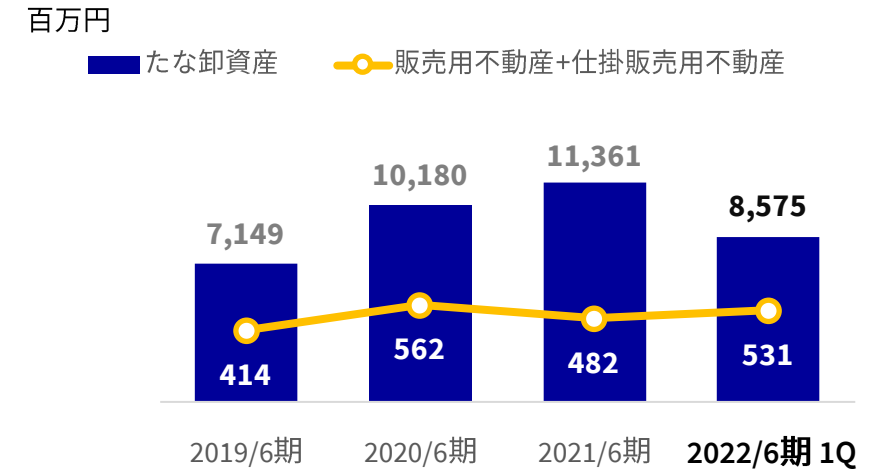
売上高・営業利益推移

	2021/6期 1Q	2022/6期 1Q	2022/6期 (予)	通期進捗率 (下限~上限)
売上高 (百万円)	3,543	7,571	14,929 ~10,936	69.2% ~50.7%
営業利益 (百万円)	278	964	1,265 ~861	112.0% ~76.2%
営業利益率 (%)	7.9%	12.7%	8.5% ~7.9%	—
取引件数	175	154	774 ~544	28.3% ~19.9%

取引件数の推移



たな卸資産の推移

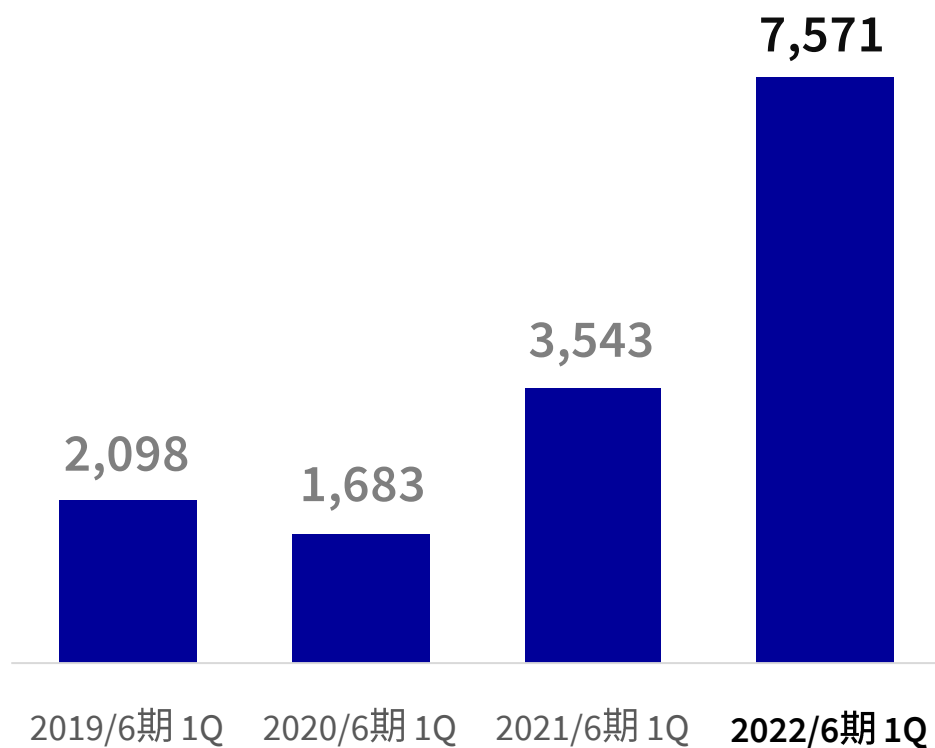


- 前期から引き続き住宅需要は活発 業績は大幅伸長、利益は通期計画下限値を上回る進捗
- 仕入れも順調に進み、在庫数は前期末を上回る水準で推移

■ 売上高推移

百万円

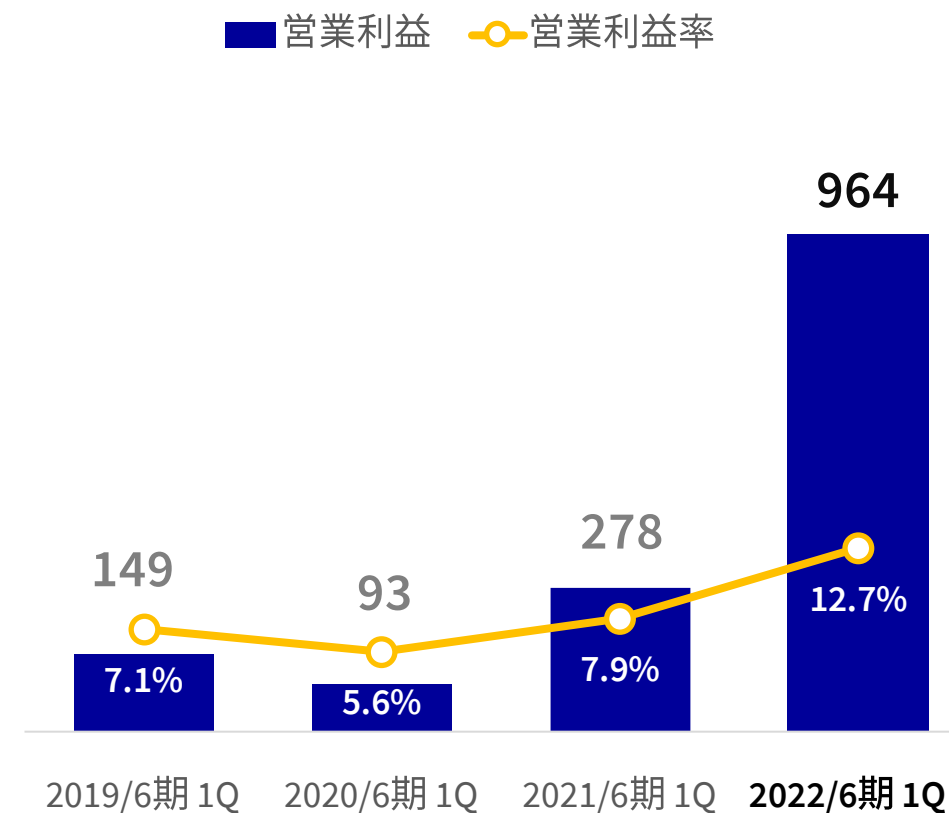
前年同期比 **+ 113.7 %**



■ 営業利益推移

百万円

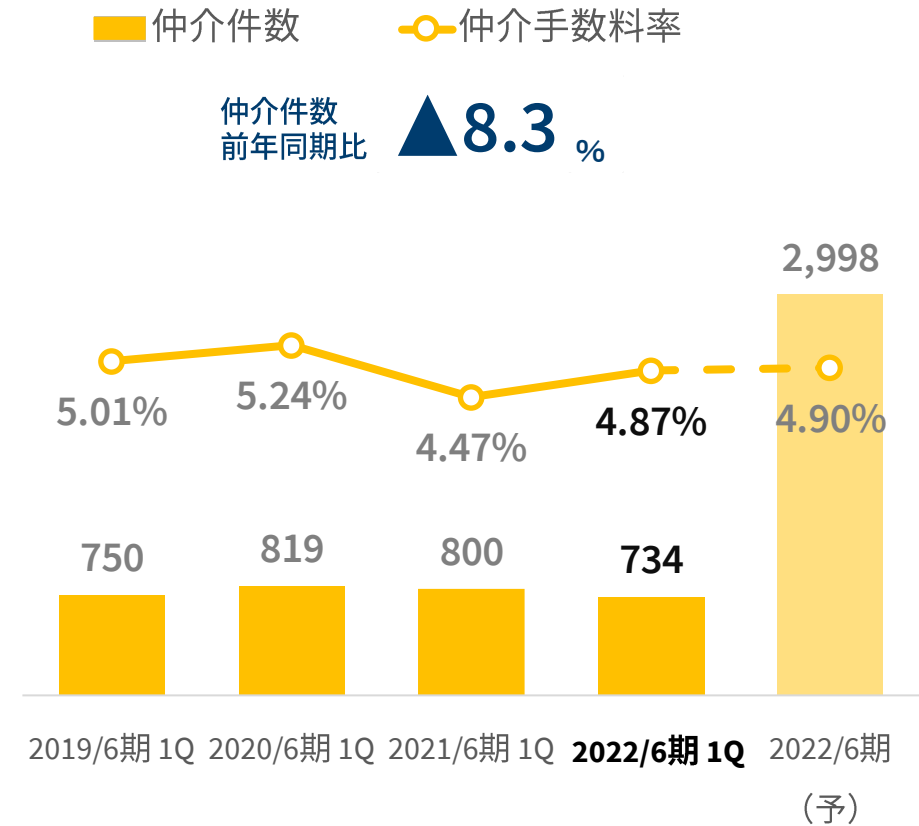
前年同期比 **+ 246.0 %**



売上高・営業利益推移

	2021/6期 1Q	2022/6期 1Q	2022/6期 (予)	通期 進捗率
売上高（百万円）	558	597	2,337	25.5%
営業利益（百万円）	154	208	623	33.5%
営業利益率（%）	27.6%	35.0%	26.7%	—
仲介件数	800	734	2,998	24.5%
仲介手数料率	4.47%	4.87%	4.90%	—

仲介件数・手数料率の推移

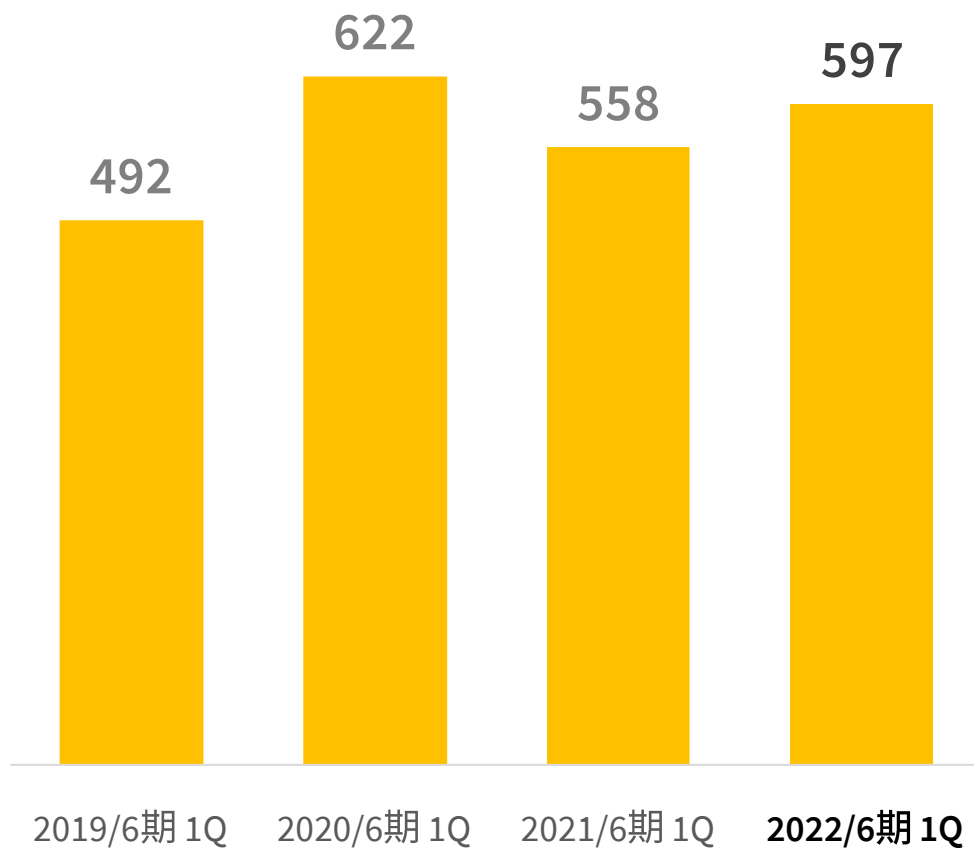


- 成長強化事業への人員シフトのため店舗を統合➡生産性向上により利益率向上
- 人材育成を含めグループシナジー発揮を図るべく各事業との連携を一層強化

売上高推移

百万円

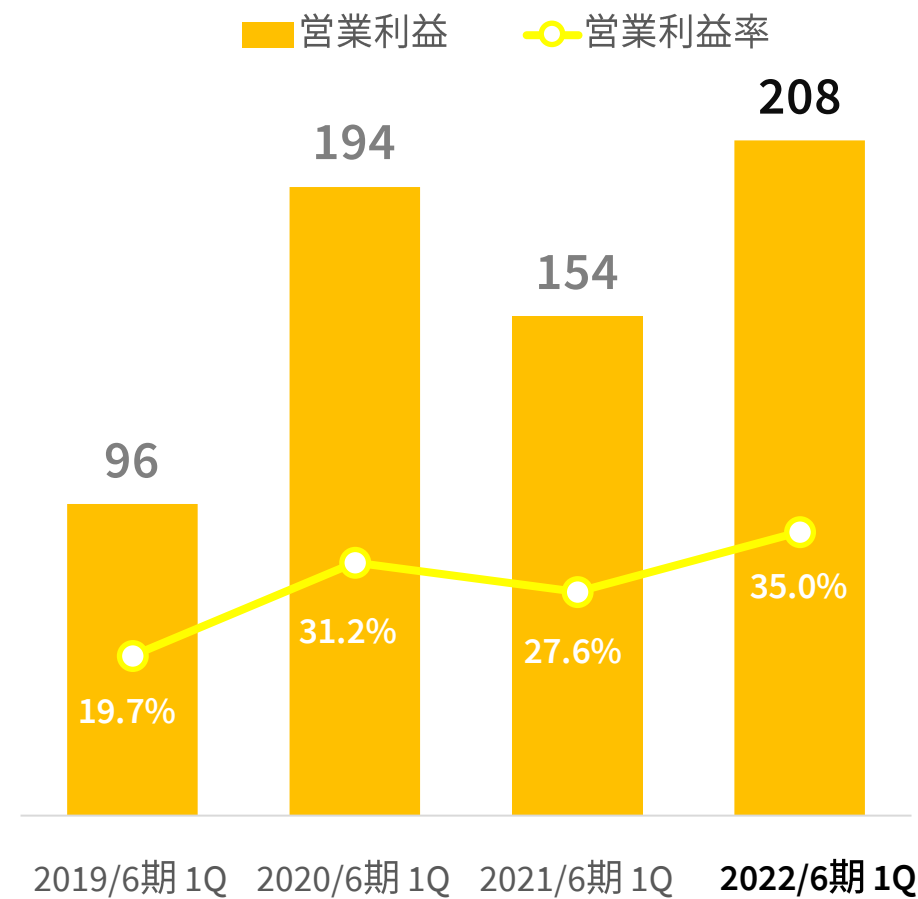
前年同期比 **+ 6.9 %**



営業利益推移

百万円

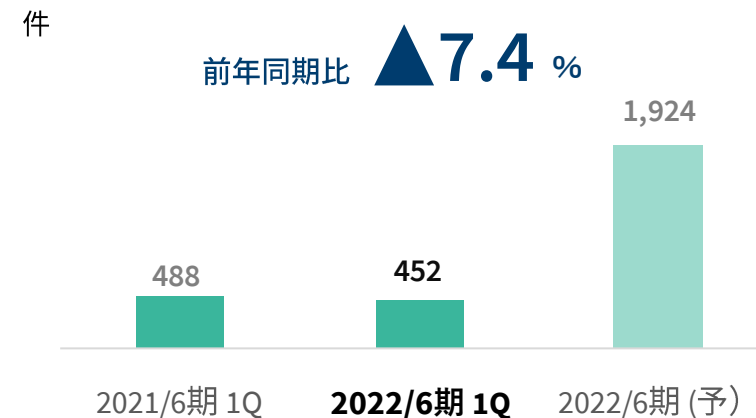
前年同期比 **+ 35.6 %**



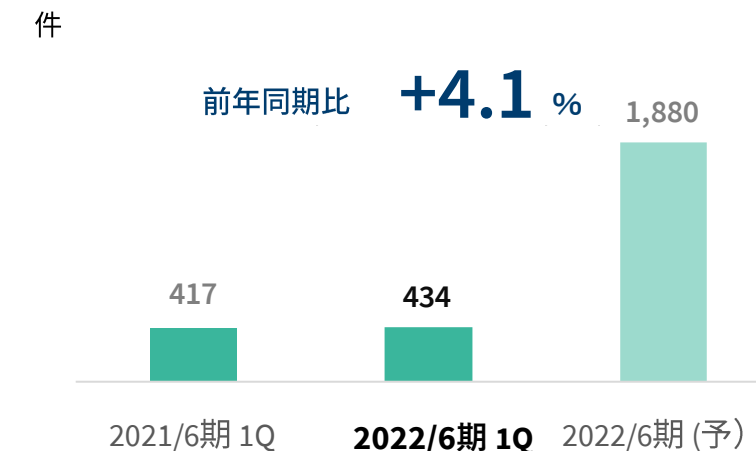
売上高・営業利益推移

	2021/6期 1Q	2022/6期 1Q	2022/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	570	621	2,972	20.9%
営業利益 (百万円)	16	25	236	10.8%
営業利益率 (%)	2.9%	4.1%	7.9%	—
リフォーム契約件数	488	452	1,924	23.5%
リフォーム引渡件数	417	434	1,880	23.1%

リフォーム契約件数の推移



リフォーム引渡件数の推移



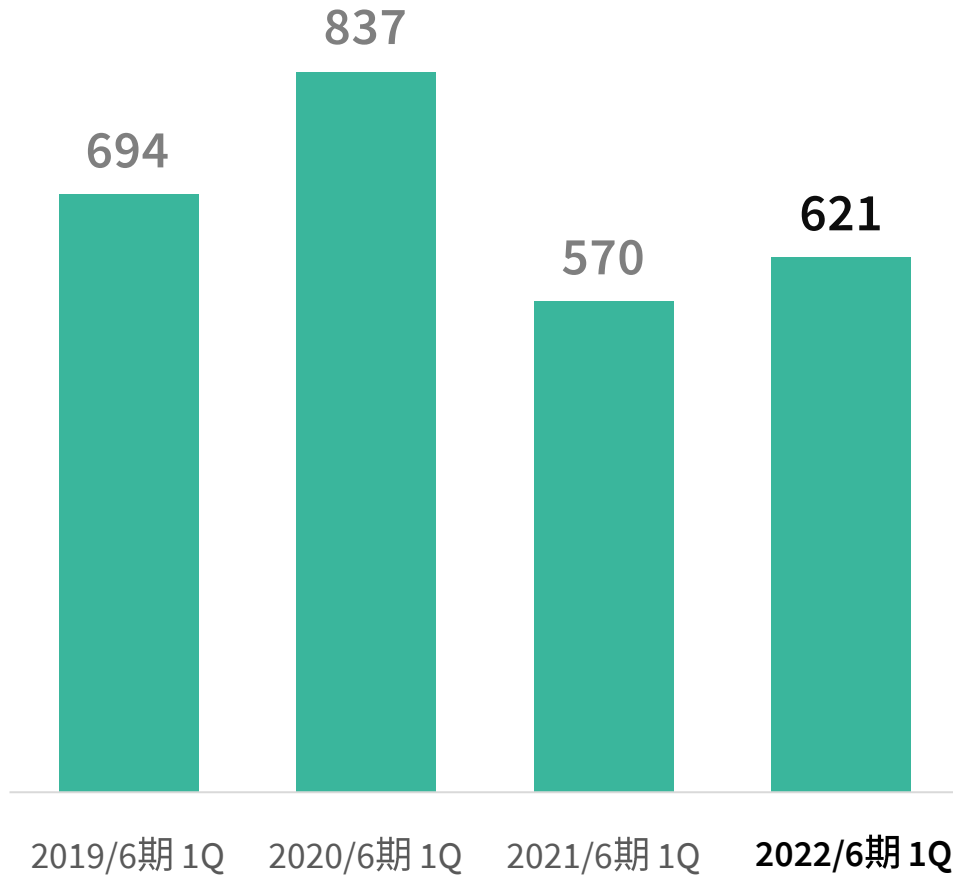
- 受注回復に伴い業績は前年同期を上回るも、緊急事態宣言の再発令等の影響により足元は契約件数減少
- 仲介事業との連携を強化し、中古住宅＋リフォームによる受注に繋げる

売上高推移

百万円

前年同期比

+ 8.8 %

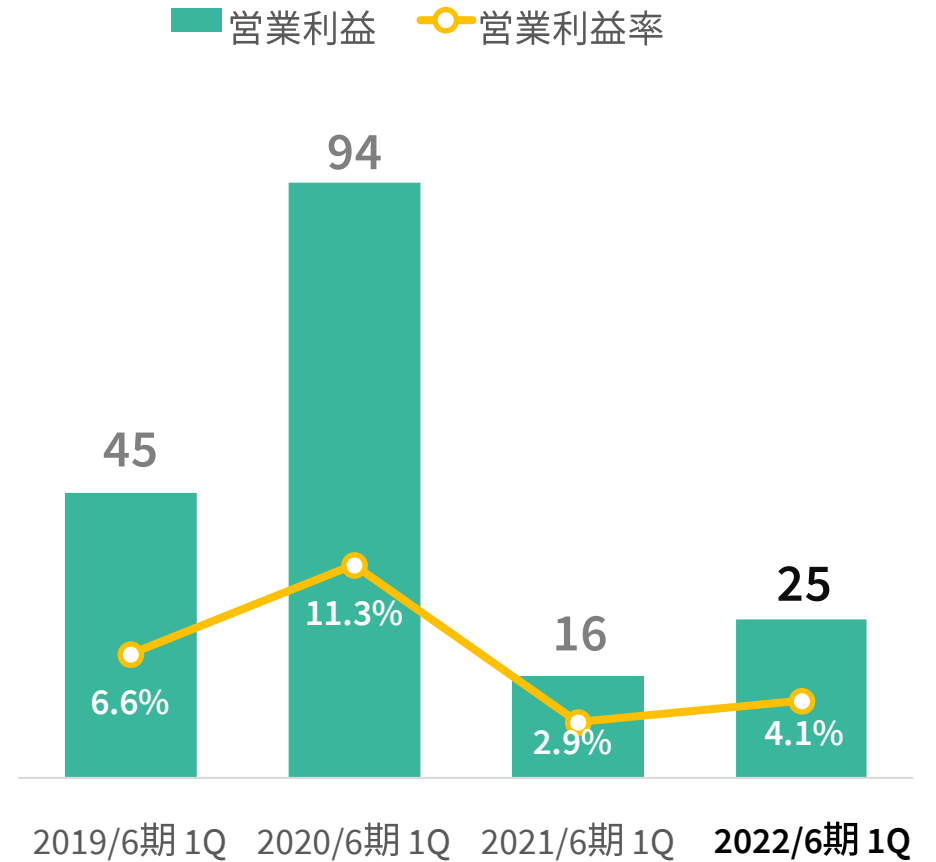


営業利益推移

百万円

前年同期比

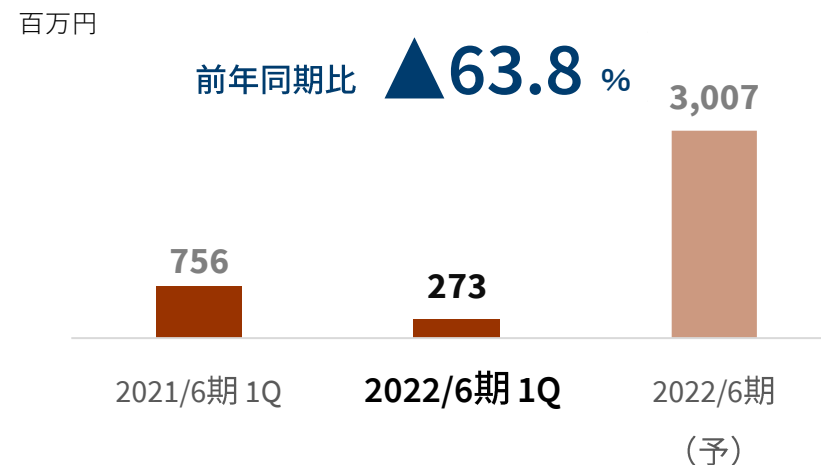
+ 51.4 %



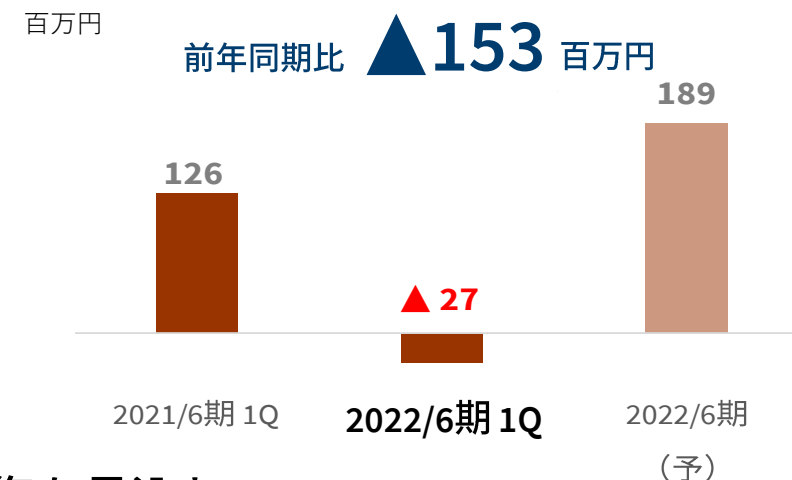
売上高・営業利益推移

	2021/6期 1Q	2022/6期 1Q	2022/6期 (予)	通期 進捗率
売上高 (百万円)	756	273	3,007	9.1%
営業利益 (百万円)	126	▲ 27	189	—
営業利益率 (%)	16.7%	—	6.3%	—
管理戸数	5,922	5,718	5,900	—

売上高推移



営業利益推移



- 売却実績減少により前年同期を下回る 第2四半期以降回復を見込む
- 組織再編により一層の効率性、生産性の向上及びシナジーを図る

販売費及び一般管理費の内訳

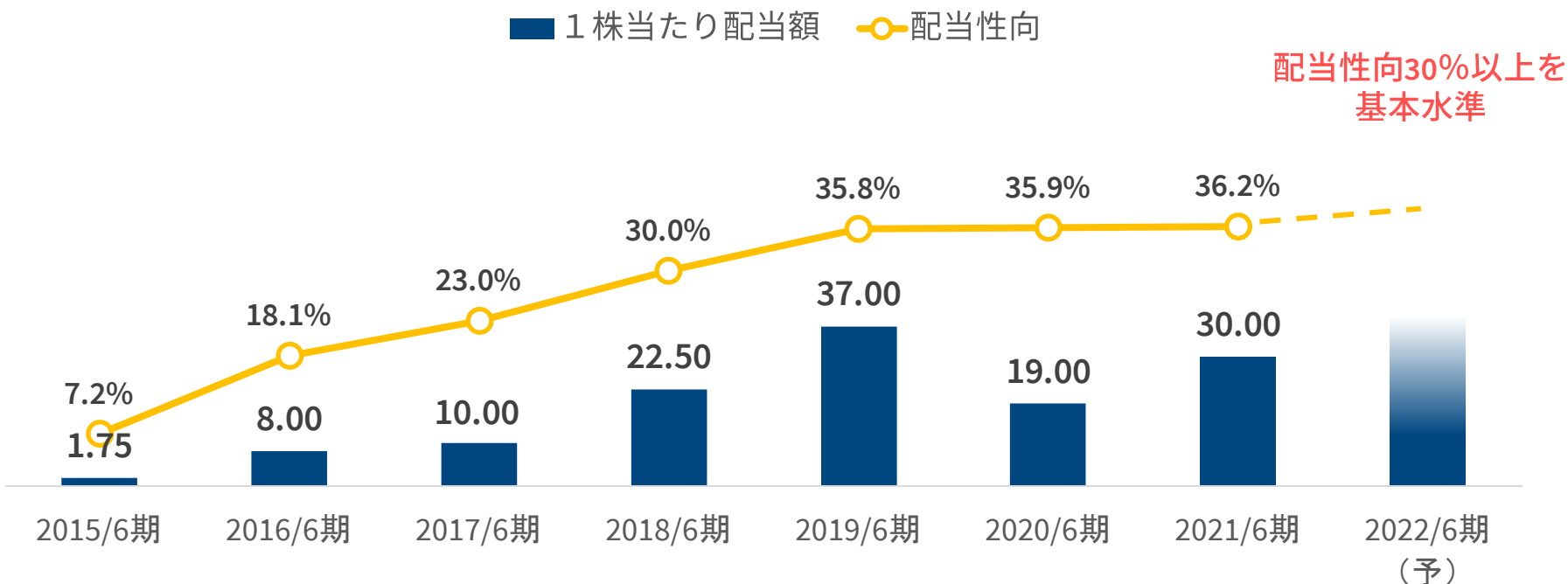
(百万円)

	2021/6期 1Q 売上 対比		2022/6期 1Q 売上 対比		対前年 増減率
販売費及び 一般管理費	2,439	32.4%	2,683	24.2%	+ 10.0%
人件費	1,149	15.3%	1,193	10.8%	+ 3.8%
広告宣伝費	422	5.6%	432	3.9%	+ 2.3%
事務所維持費	97	1.3%	108	1.0%	+ 11.7%
その他販売管理費	770	10.2%	950	8.6%	+ 23.3%
(売上総利益	2,755	36.6%	3,476	31.4%)

■売上高販管費率 前年同期 32.4% → 24.2%に低下

■成長強化事業を中心に広告宣伝及び人財投資を継続するも、全体としては売上高販管費率は低下

- 将来の成長投資と内部留保の充実及び株主への利益還元とのバランスを勘案し、配当性向30%以上を基本水準に
- 2022年6月期までは配当と株主優待による還元を実施



※1株当たり配当額は、2015年7月1日付で普通株式1株を5株に、2016年4月1日及び2018年7月1日付で普通株式1株を2株に分割した影響を加味し、遡及して修正した数値を記載しております。

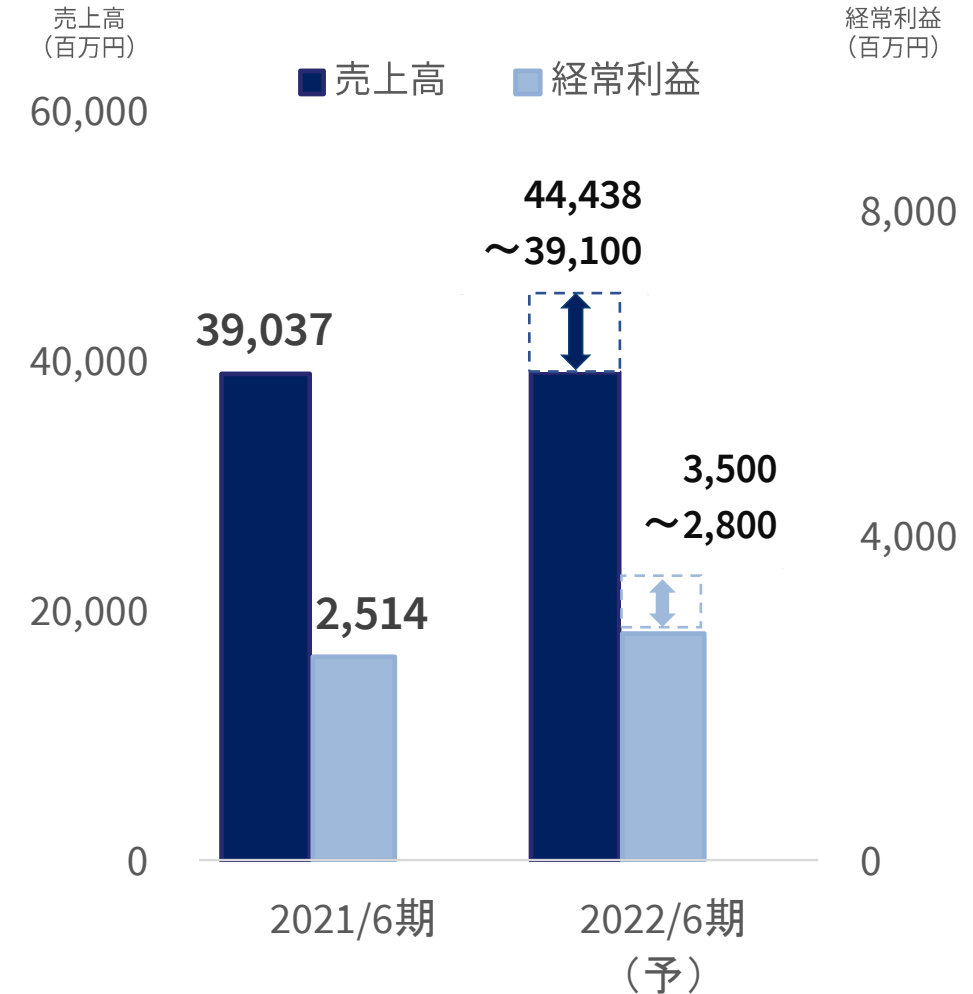
日付	リリース内容
7/1	経営諮問委員の招聘に関するお知らせ
7/5	ハウストゥ加盟契約数700店舗突破のお知らせ
7/12	リバースモーゲージの保証事業で但馬銀行と提携
7/20	リビン・テクノロジーズと加盟店向けサービスの提供に関する業務提携のお知らせ
8/6	沖縄県下で直営サテライト6店舗目となる「ハウストゥ与那原西原店」をオープン
8/16	業績予想と実績値の差異及び配当修正に関するお知らせ
8/24	持株会社体制への移行に伴う吸収分割（簡易吸収分割）契約締結及び定款変更（商号及び事業目的の一部変更）に関するお知らせ
8/31	剰余金の配当に関するお知らせ
9/1	東京スター銀行とニーズマッチングでの業務提携のお知らせ
9/1	株式会社識学との業務提携に関するお知らせ
9/29	（訂正）2021年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）の一部訂正について
9/30	東京都内で売買仲介直営店「ハウストゥ蒲田駅東」をオープン
9/30	遠州信用金庫とリバースモーゲージ保証及びニーズマッチングで業務提携
9/30	リバースモーゲージの保証事業で小松川信用金庫と提携

詳細は弊社コーポレートサイト（<https://www.housedo.co.jp/>）をご覧ください。

1. 会社概要
2. 2022年6月期 第1四半期連結決算概要
3. 2022年6月期 第1四半期セグメント別決算概要
4. 2022年6月期 年度計画及び中期計画

- 成長強化事業の伸長に加え、堅調な住宅需要の下支えにより増収増益を見込む
- 下限値をベースとして、経済活動の改善状況及び各種取り組みの効果を想定し、上限値を設定

	2021/6期 実績	2022/6期 (予)	単位 (百万円) 対前年 増減率
売上高	39,037	44,438 ～ 39,100	+ 13.8% ～ + 0.2%
営業利益	2,589	3,673 ～ 2,973	+ 41.9% ～ + 14.8%
経常利益	2,514	3,500 ～ 2,800	+ 39.2% ～ + 11.4%
純利益	1,616	2,310 ～ 1,848	+ 42.9% ～ + 14.3%
1株当たり 純利益 (円)	82.87	118.13 ～ 94.50	—

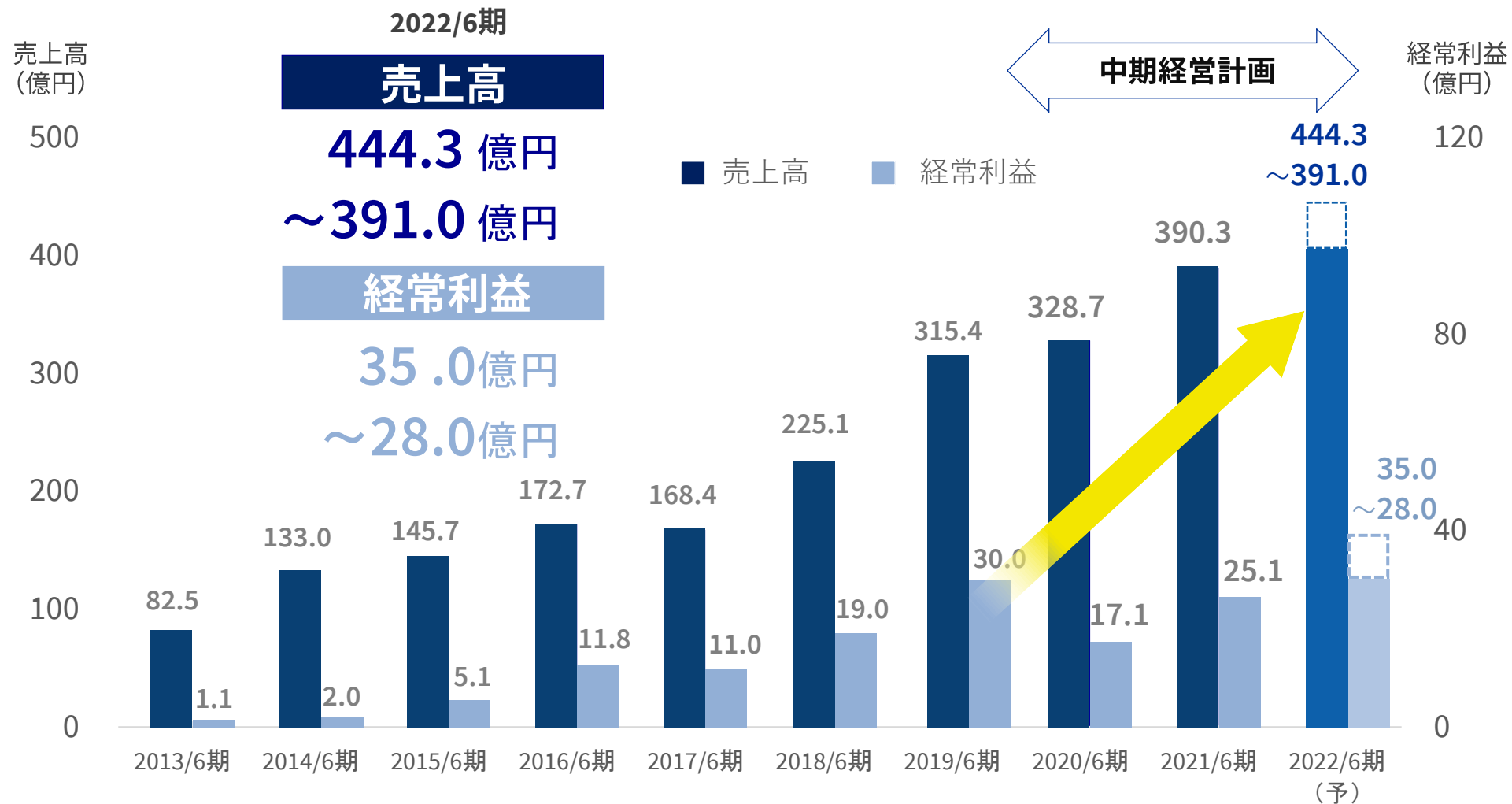


2022年6月期計画：セグメント別売上高・営業利益

	売上高	増減率	営業利益	増減率
フランチャイズ事業	3,563	+ 6.8%	2,408	+ 8.2%
ハウス・リースバック事業	17,228 ～ 15,942	+ 29.0% ～ + 19.4%	2,335 ～ 2,100	+ 41.3% ～ + 27.0%
金融事業	1,012 ～ 952	▲ 7.5% ～ ▲ 13.0%	160 ～ 100	+ 110.6% ～ + 31.4%
不動産売買事業	14,929 ～ 10,936	+ 2.1% ～ ▲ 25.2%	1,265 ～ 861	+ 16.9% ～ ▲ 20.4%
不動産流通事業	2,337	+ 1.1%	623	+ 4.6%
リフォーム事業	2,972	+ 9.4%	236	+ 37.7%
小山建設グループ	3,007	+ 40.4%	189	+ 47.9%
調整額	▲ 610	—	▲ 3,546	—
合計	44,438 ～ 39,100	+ 13.8% ～ + 0.2%	3,673 ～ 2,973	+ 41.9% ～ + 14.8%

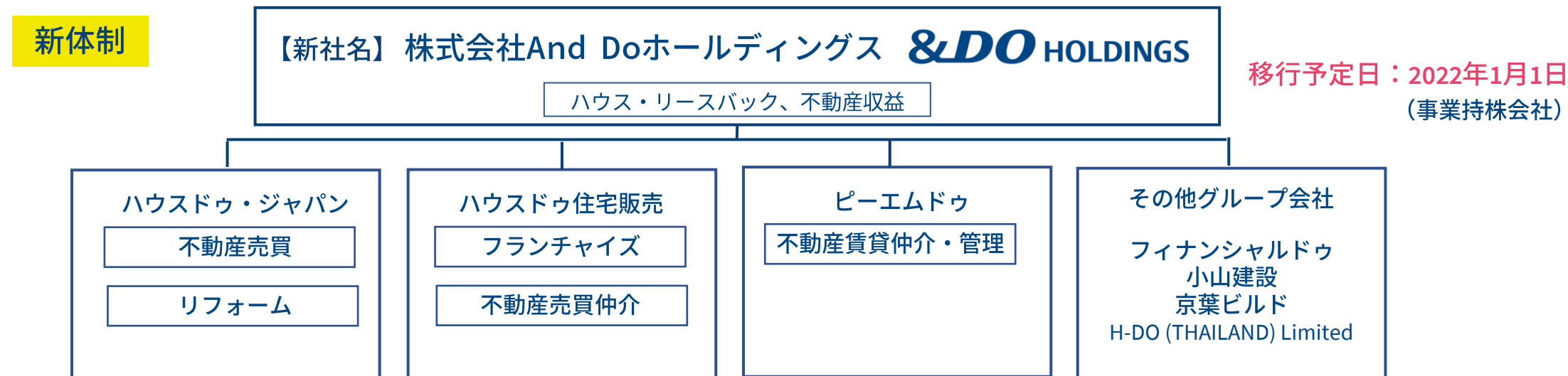
中期経営計画（～2022年6月期）

■成長強化事業への積極的な投資継続、これまでに培った基盤を活かし持続的成長モデルへ



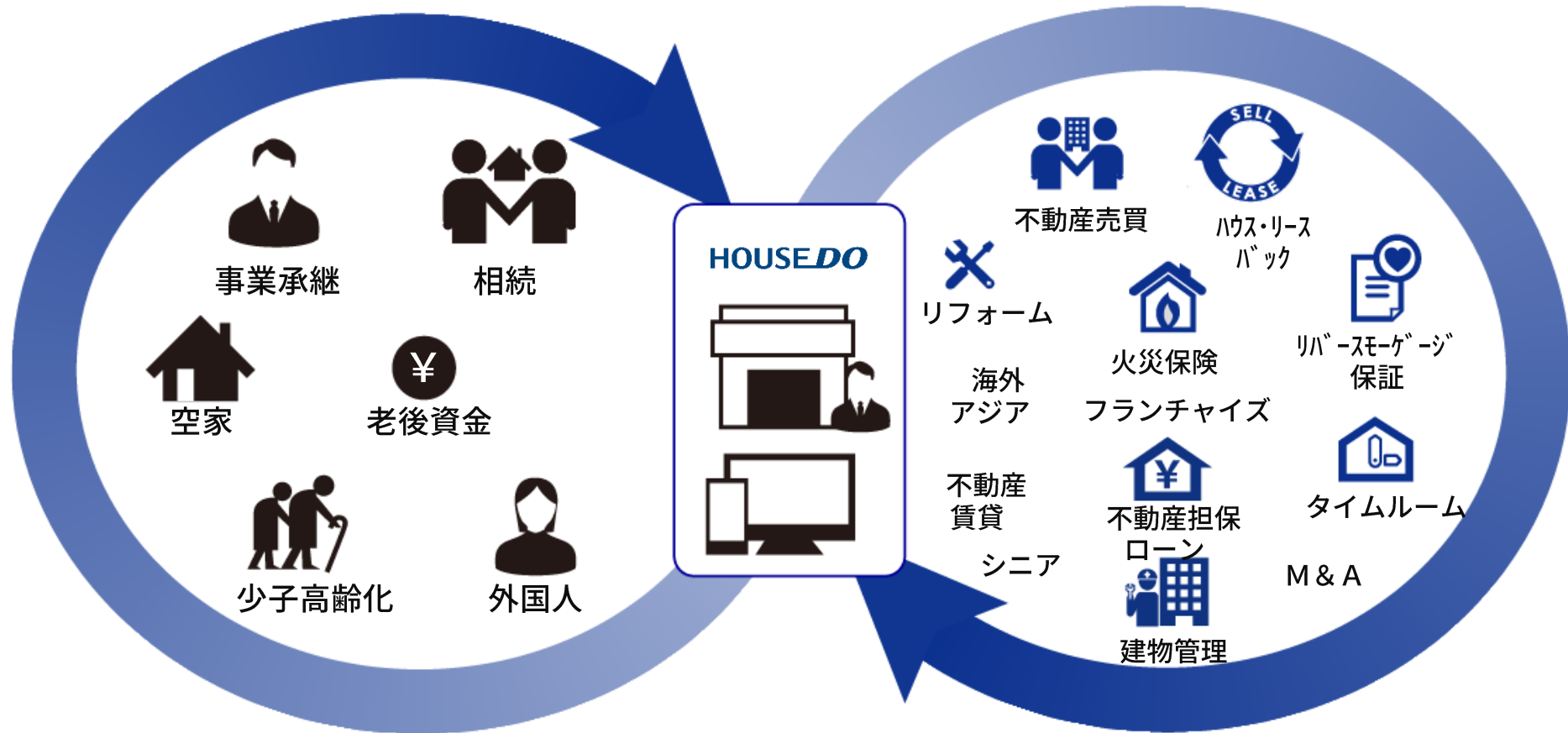
事業持株会社体制の目的

- 住宅以外の不動産ターゲット
- 各若手幹部の成長と責任を持たせる狙い



※株式会社小山不動産は、不動産売買仲介事業を株式会社ハウストゥ住宅販売に吸収分割及び株式会社ピーエムドゥに吸収合併予定

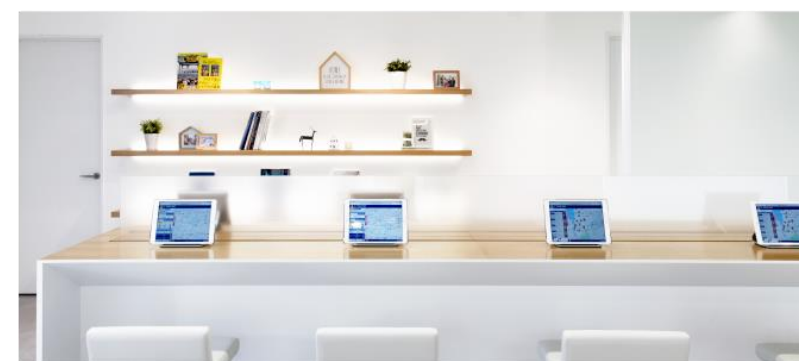
さまざまな社会問題解決をサービス化



ビジネスチャンスに

地域密着の店舗ネットワークとデジタルテクノロジーの融合

リアル店舗で住まいに関するサービスをワンストップでスマートに提供



不動産サービスのオンライン化

デジタルデバイスを活用し、お客様にとって安心・便利なサービスを創出

オンライン内覧



無人オープンハウス



VR 内見



スマホでくらす家 SMART DO HOME



家事もセキュリティも、
スマホで簡単操作

- | | | |
|------------------|-------------------|--------------------|
|
照明
ON/OFF |
テレビ
ON/OFF |
屋外カメラ |
|
宅配ボックス |
侵入感知 |
エアコン
ON/OFF |
|
施錠確認 |
お湯はり |
見守りカメラ |

対応エリア順次拡大中

ライフスタイルに合わせてカスタマイズ



カーテンやシャッターもアプリ・音声で開閉をコントロール



多彩なエンターテインメント



タッチディスプレイで
スマートホーム機器を集中管理

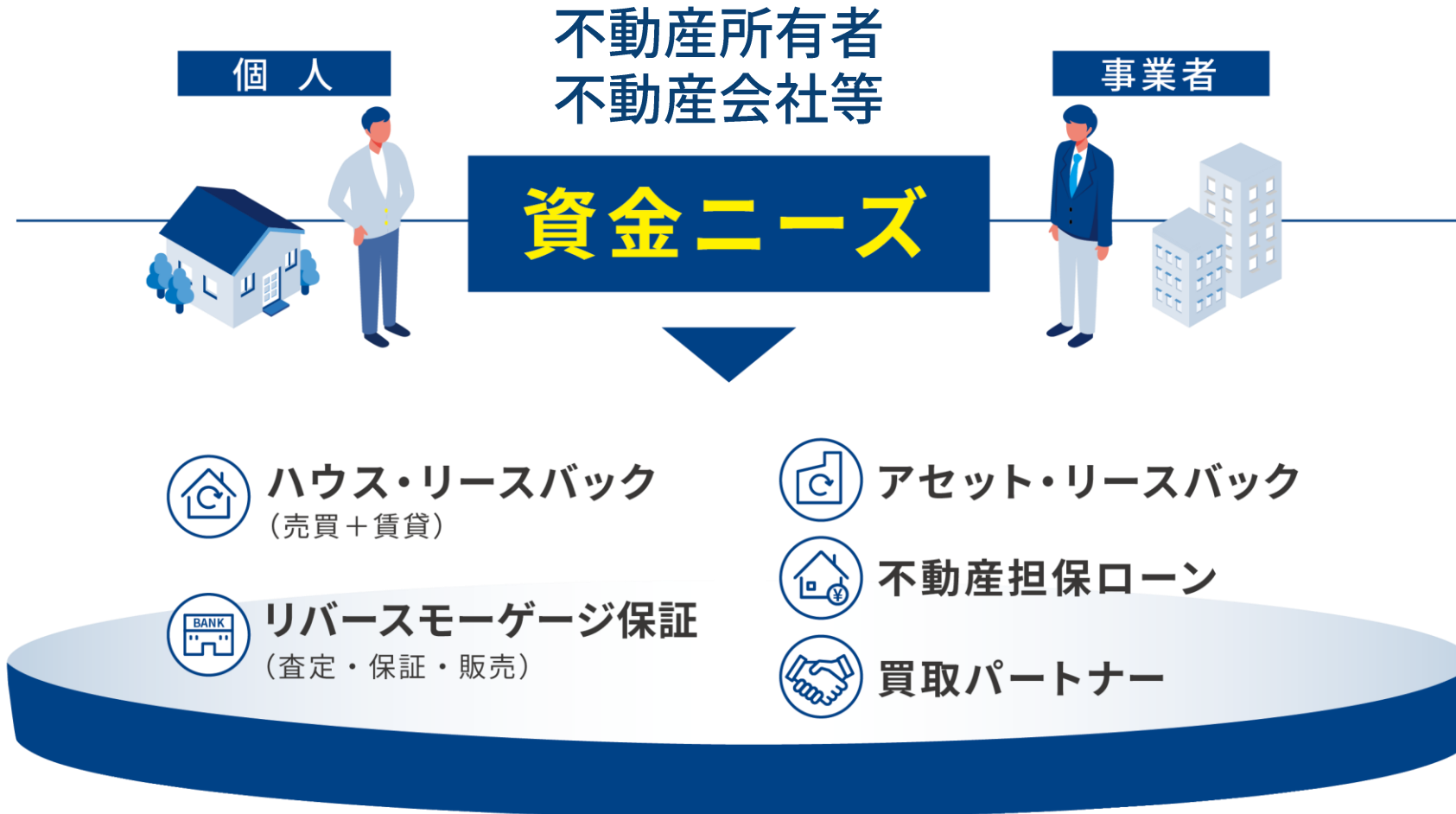


人感センサーでエアコンやテレビの
ON/OFFも可能



全方面にカメラ設置で
セキュリティ万全

不動産に関わる様々な資金調達ニーズに対応



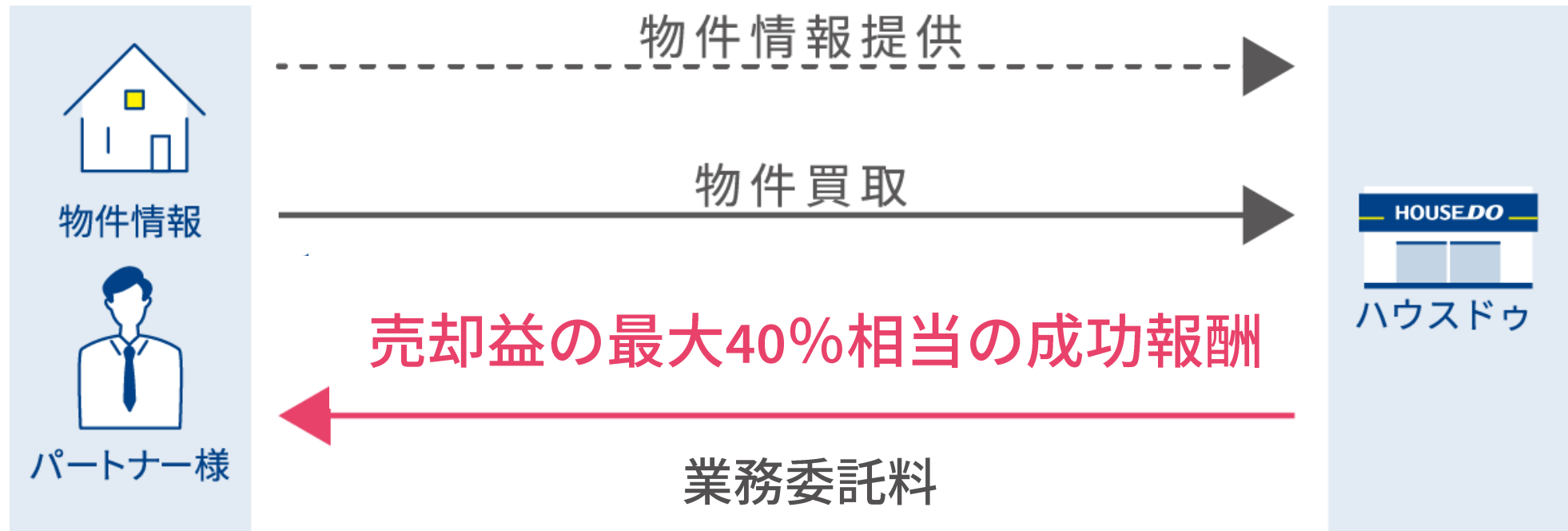
パートナー

ハウズドゥ

情報提供

+

資金



優良な物件情報を活かし、利益を最大化

AIを利用したオンライン

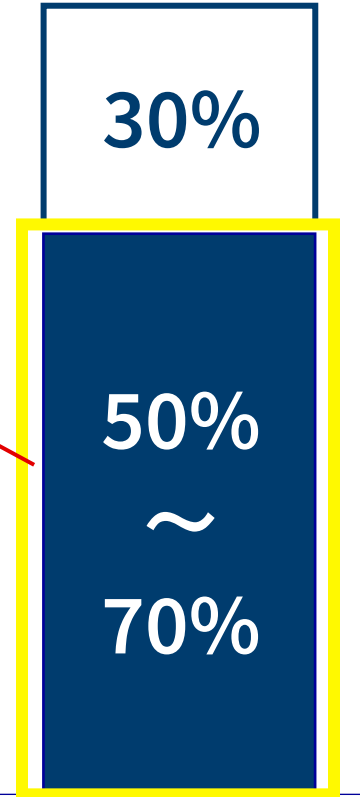
エンドユーザー



スマホアプリ
「DO BANK」

← 融資
返済 →

ハウスク
設定枠
(融資可能額)

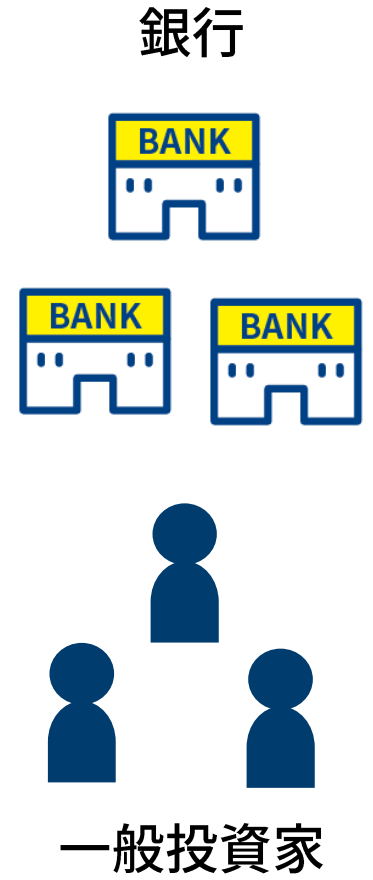


物件査定額

C
ランク

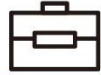
B
ランク

A
ランク



ハウズドゥの強みを最大限に活かし、業界改革

地域密着の



販売力



査定力



信用力



全国対応



賃貸ビジネス構想



高齢者ビジネス構想



不動産信託構想

アジアの不動産サービスメーカーへ

不動産の活用 = 不動産の流動化

高齢化・貸金業者激減・資金供給不足

資産を活かし ⇒ 資金を供給

日本経済活性化

業界を変える！

— お客様のための業界へ —

国内**1,000**店 アジア**50,000**店へ！

住まいのすべてを、スマートに。

HOUSEDO

—将来見通しに関する注意事項—

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社グループは、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

※前々期以前のセグメント別データにつきましては、セグメント区分見直し前のデータが含まれております。ご注意ください。

■IR情報 <https://www.housedo.co.jp/ir/>

■IRに関するお問い合わせ Email：housedo-ir@housedo.co.jp TEL：03-5220-7230